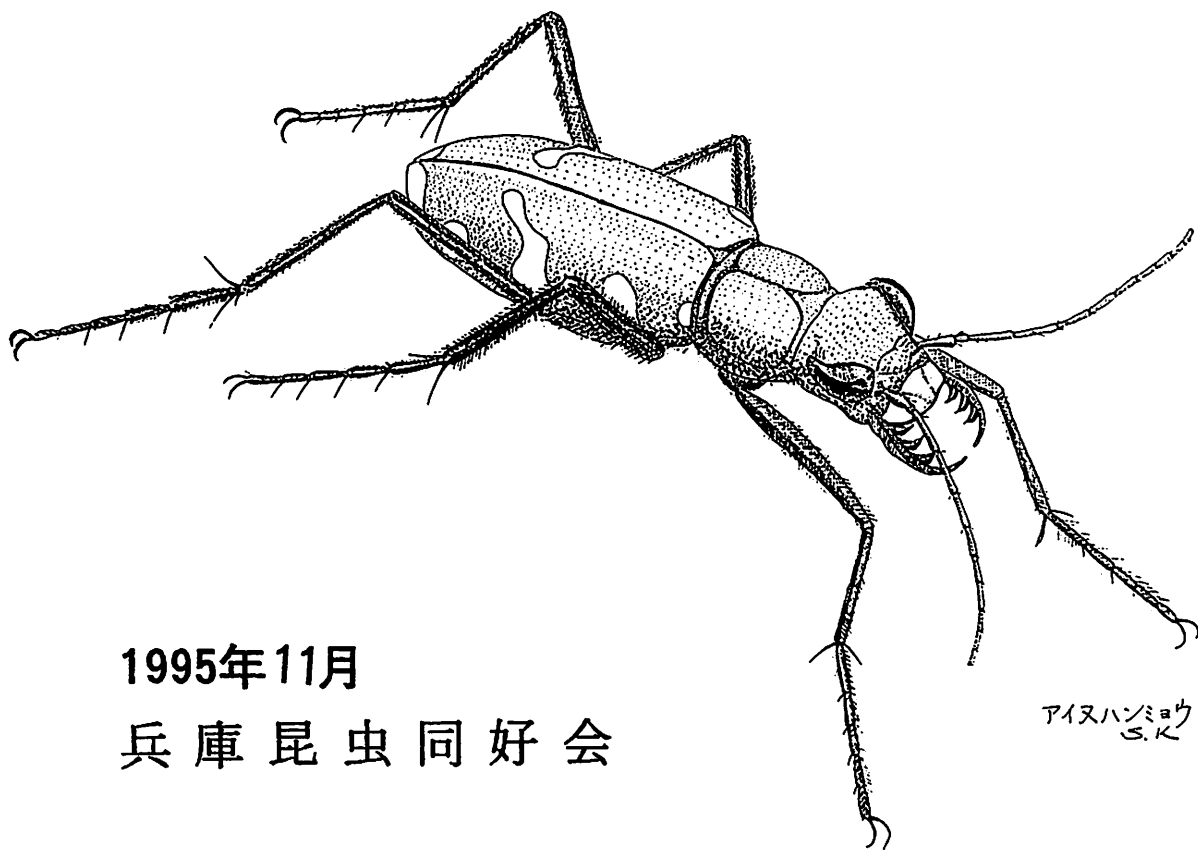
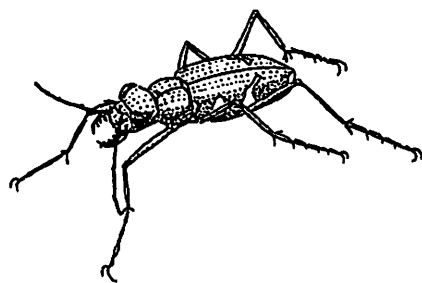


まべりはむし

第23巻 第2号



1995年11月

兵庫昆虫同好会

アイヌハシヨウ
S.K.

兵庫県の水棲甲虫に関する文献目録(1)*

高橋寿郎

1. はじめに

兵庫県の水棲甲虫についての文献類をここにまとめた。何分にも貧弱な所有文献からのものであるから、多くの重要な文献類の見落としや脱落があるものと思われる。それ等について御教示頂くことができれば幸いである。ここに収録した文献については多くの方々の援助によって得たものがある。いちいち御芳名は記さないが厚くお礼申し上げさせて頂く。

2. 凡 例

1. 兵庫県の水棲甲虫について記述のある印刷物は内容、体裁にかかわらず同一に扱った。
2. 記述は著者名(発表年)、表題、誌名、巻(号)：頁の順に行った。単行本は書名を「」でくくり、発行所名を()に併記した。
3. 配列は発表年月日順とした。この目録はそのまま兵庫県の水棲甲虫研究史となる。
4. すべての文献に種名を中心とした抄録を付し、今後の基礎資料となるようにした(学名の必要あるものには学名も入れた)。なお、50種以上の採集目録は、「仮目録」に文献番号を付記することによって抄録にかえた。
5. ここにとりあげた水棲甲虫とは、コガシラミズムシ科、ムカシゲンゴロウ科、コツブゲンゴロウ科、ミズスマシ科、ゲンゴロウ科、ガムシ科、ヒラタドロムシ科、ドロムシ科、ヒメドロムシ科、ナガドロムシ科と10科に所属する甲虫類であることを承知頂きたい。
6. 学名、和名は原則として日本産昆虫総目録、1989 に依拠した。
7. 直接見ることのできなかつた文献には*印を付

してある。

3. 文献目録

1. 1873. Sharp, D. The Water Beetles of Japan. Trans. ent. Soc. London, Part. I: 45-67.
G. Lewis が日本で採集した水棲甲虫、ゲンゴロウ科及びガムシ科に関しての論文で35新種、12既知種が記載されている。現在の分類でコツブゲンゴロウ科、ミズスマシ科と別けられる種も含まれている。兵庫県産で記録されているものは次のごとくあり、しかも新種として14種が記載されている。兵庫県の水棲甲虫として一番古い研究論文になると考えられる。
Dytiscidae ゲンゴロウ科
p. 48. *Hydaticus rufulus* Aubé = *Cybister brevis* Aubé, 1838 クロゲンゴロウ Hiogo
Hydaticus japonicus Sharp = *Cybister* ゲンゴロウ Hiogo. 新種。大阪の池沼、兵庫の池に多いとある。
p. 49. *Agabus* (*Platambus* Th.) *pictipennis* Sharp = *Platambus* モンキマメゲンゴロウ Hiogo. 新種。運河の石の下で4匹得たと。
p. 50. *Agabus japonicus* Sharp マメゲンゴロウ Hiogo. 新種。
p. 51. *Ilybius apicalis* Sharp キベリクロヒメゲンゴロウ Hiogo. 新種。稀とある。
p. 52. *Laccophilus lewisius* Sharp ルイスツブゲンゴロウ Kobe. 新種。
p. 53. *Laccophilus kobensis* Sharp コウベツブゲンゴロウ Kobe (Hiogo). 新種。多分普通種だろうとしている。
p. 54. *Hyphydrus japonicus* Sharp ケシゲンゴロウ Hiogo. 新種。普通とある。

*兵庫県甲虫相資料・307

Noteridae コツブゲンゴロウ科

- p.51. *Hydrocanthus politus* Sharp = *Canthyrus* ムツボシツヤコツブゲンゴロウ Hiogo. 新種。池に普通とある。

Gyrinidae ミズスマシ科

- p.55. *Gyrinus japonicus* Sharp ミズスマシ Hiogo. 新種。多い。

Hydrophilidae ガムシ科

- p.58. *Hydrochaeres affinis* Sharp = *Hydrochara* コガムシ Hiogo. 新種。

- p.60. *Helochares lewisius* Sharp = *Helochares pallens* (Mac Leay) ルイスヒラタガムシ Hiogo. 新種。

- p.62. *Amphiops mater* Sharp タマガムシ Hiogo. 新種。

- p.65. *Cercyon aptus* Sharp コケシガムシ Hiogo. 新種。

- p.66. *Cercyon laminatus* Sharp ウスモンケシガムシ Hiogo. 新種。糞の中から得たとある。

なお、Sharp, D. は1884年にも The water-beetles of Japan なる論文を発表(Trans. ent. Soc. London, Part. IV:439-464)、多くの新属、新種記載を含む日本の水棲甲虫を記録しているが、大体日本の北半分の所の産地が多く、残念ながら Hiogo からの記録は全く見られなかった。

2. 1887. Schönfeldt, H.V. Catalog der Coleoptera von Japan mit Angabe der bezuglichen Beschreibungen und der sicher bekannten Fundorte.

Jahrb. d. nass. Ver. f. Naturkunde 40:31-204.

この目録発表年迄に日本から記録された甲虫類のリストで、原記載名も一緒に示してある。この目録での新種記載というのはない。記録された種が現在の知見で学名の変わるもの、整理してシノニムで消えるものもある。一応、水棲甲虫のみで Hiogo, Kobe と産地の書いてあるものを次に記し

ておく(和名で示し、学名の必要のあるものは学名を入れた)。

- p.58. ハイイロゲンゴロウ、マルガタゲンゴロウ、シマゲンゴロウ

- p.59. マメゲンゴロウ、モンキマメゲンゴロウ、キベリクロヒメゲンゴロウ、*Canthyrus nitidulus* (Sharp) ツヤコツブゲンゴロウ Hiogo. この種はトカラ中之島以南に分布する種で、ムツボシツヤコツブゲンゴロウ *Canthyrus politus* (Sharp, 1873) のことであろう。コウベツブゲンゴロウ、ルイスツブゲンゴロウ

- p.60. ケシゲンゴロウ

GYRINIDAE

- p.61. *Dineutes marginatus* Sharp = *Dineutus orientalis* (Modeer) オオミズスマシ Nipon, Kiushiu, Hiogo. この種の原記載は、Trans. ent. Soc. 73.56 とあるも、この原記載の箇所には Abundant Nippon and Kiushiu とあって Hiogo の産地は出ていない。

HYDROPHILIDAE

Hydrocharis affinis Sharp = *Hydrophilus bilineatus cashimirensis* Redtenbacher コガタガムシ Niigata, Ogura-Sea, Hiogo.

- p.63. *Helochares Lewisius* Sharp = *Helochares pallens* Mac Leay ルイスヒラタガムシ Hiogo, Nagasaki. タマガムシ

- p.64. コケシガムシ、ウスモンケシガムシ

3. 1902. 大上宇一. 播磨産甲虫報知 動物学雑誌 13(157):360-363.

大上宇一が播磨産の甲虫類を科別にまとめて、報文として発表を始めた冒頭に(動物学雑誌 Vol. 13, No.155:289)述べているごとく、この一連の報告は松村松年博士の"日本昆虫学"(1889)によって同定しているが、これ以外の書は全く見ず、和名も学名も知らざるものは止むを得ず傍若無人的の和名を下せりとあるように、この報文だけで現在のどの種を意味しているのか的確に判定できない

ものが多い。

標本も現存していないので、まず間違いないであらうという種のみを示すことにした。学名も現在の知見ではかなり変更が必要である。

ゲンゴロウ科 4種。ゲンゴロウ、コガタノゲンゴロウ、シマゲンゴロウ、マメゲンゴロウ(スナムグリ *Agabus japonicus* Sharp)

ミズスマシ科 2種。ミズスマシ、オオミズスマシ

ガムシ科 3種。ガムシ、コガムシ、ヒメガムシ

4. 1907. 大上宇一。播磨産甲虫類(承前)

昆虫世界 11(115):110-112.

今回の報文では、Lewis の「日本産甲虫目録」、松村松年博士の日本千虫図解、日本昆虫学、動物学雑誌、昆虫世界を参考にしたとある。各種に学名がついている。但し、この学名は現在ではかなり変更を要するものがある。記録されているのは次の通り。

コガシラミズムシ科 1種。コガシラミズムシ

コツブゲンゴロウ科 1種。ムツボシツヤコツブゲンゴロウ

ゲンゴロウ科 11種。マルガタゲンゴロウ、ゲンゴロウ、シマゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、ケシゲンゴロウ、コガタノゲンゴロウ、コシマチビゲンゴロウ(本種は九州南部に分布する種で、兵庫県にはいないと思われる)、ハイイロゲンゴロウ、クロツマメゲンゴロウ、エゾヒメゲンゴロウ(ヒメゲンゴロウと考えられる)、マメゲンゴロウ

ミズスマシ科 2種。オオミズスマシ、ミズスマシ

ガムシ科 9種。スジヒメガムシ、スジヒラタガムシ、シジミガムシ、タマガムシ、マメガムシ、マグソガムシ、ガムシ、ゴマフガムシ、コガムシ

5. 1920. Zimmermann, A. Bemerkenswerte Neuerwerbungen des Zoologischen Museums in Hamburg.

Halipidae, Dytiscidae et Gyrinidae.

Entomologische Blätter, 16, pp.226-227.

この論文、筆者は所有していないが、*Copellatus parallelus* Zimmermann コセスジゲンゴロウが"Settsu"(摂津)から記載されている。

6. 1931. Takizawa, M. The Halipidae of Japan. Ins. Mats., 5(3):137-143.

日本産コガシラミズムシ科の研究である。2新種の記載あり(1新種は朝鮮産)。兵庫県産は1種のみ記録あり。

p.141. *Halipus ovalis* Sharp, 1884 ヒメコガシラミズムシ Takasago lex. 14.VII. S.Matsumura leg.

7. 1931. Takizawa, M. The Gyrinidae of Japan. Ins. Mats., 6(1):13-21.

日本産ミズスマシ科の研究で1新種、1新変種の記載あり(もっとも新種は台湾産)。兵庫県産として次の種が記録されている。

p.15. *Dineutes marginatus* Sharp = *Dineutes orientalis* (Modeer, 1776) オオミズスマシ Takasago, 6exs., Matsumura leg.

p.18. *Gyrinus gestroi* Regimbart, 1883 ヒメミズスマシ Takasago, 3exs., S.Matsumura leg.

8. 1931. T.Kano & K.Kamiya. Two New Species of Halipidae from Japan.

Trans. Kansai Ent. Soc. (2):1-4.

p.1-2, pl.1, Fig.1&1a. *Halipus hiogoensis* Kano et Kamiya 新種記載がある。Hab. Honshu (Hiogo lex., 13.X.1929, K.Kamiya. Kobe, lex., 13.XI.1929, K.Hasumi) 兵庫県武庫郡甲東園1929年10月13日 神谷1♂採集、神戸1929年12月13日羽隅侃次氏1♂採集、本種は現在では *Halipus (Liaphus) eximius* Clark, 1863. キイロコガシラミズムシになる。

9. 1932. Takizawa, M. The Dytiscidae of Japan, Part. I (Noterinae, Laccophilinae)

Ins. Mats., 7(1/2):17-24.

日本産ゲンゴロウ科研究の第1報である。11種について記載されたうち、1新種(台湾産)の記載があり、兵庫県産は次の種が記録されている。

p.20. *Canthydrus politus* (Sharp, 1873) ムツボシツヤコツブゲンゴロウ Maiko, Takasago

p.22. *Laccophilus difficilis* Sharp, 1873 ツブゲンゴロウ Takasago

p.23. *Laccophilus kobensis* Sharp, 1873 コウベツブゲンゴロウ Akashi, Misaki, Takasago
Laccophilus lewisius Sharp, 1873 ルイスツブゲンゴロウ Takasago

Laccophilus sharpi Régimbart, 1889 シャーブツブゲンゴロウ Takasago

10. 1932. Takizawa, M. The Dytiscidae of Japan, Part. II.

Ins. Mats., 7(4):165-179.

日本産ゲンゴロウ科の研究の第2報である。23種が記録、うち4新種の記載(1新種は樺太産)。

兵庫県からは1種のみ記録されている。

p.168. *Hyphydrus orientalis* Clark = *Hyphydrus japonicus* Sharp, 1873 ケシゲンゴロウ Takasago

11. 1933. 神谷一男. 日本産オナガミズスマシ属並びに1新種、1新亜種の記載。

昆虫 7(5/6):240-244

日本産オナガミズスマシ属7種(勿論当時の日本であるから台湾、朝鮮産それぞれ1種、並びに日本に産しない1種を含む)の記載で表題にあるごとく1新種、新亜種の記載も含んでいる。兵庫県産は次の記録がある。

p.240. *Orectochilus agilis* Sharp ツマキレオナガミズスマシ 猪名川にて福貴氏により100頭以上の標本が採集されたと。

p.244. *Orectochilus punctipennis* Sharp コオナガミズスマシ 猪名川

12. 1933. 瀧口 浩. 大阪附近に産する龍蝨科目録。

関西昆虫学会々報 (4):81-83.

表題のごとく大阪付近のゲンゴロウ27種の記録であるが、キベリマメゲンゴロウ、クロゲンゴロウ2種がはっきりと兵庫県川辺郡神津村(猪名川軍行橋附近)産として記録されている。

13. 1933. 関 公一. 御影町附近産の甲虫目録(其の三)。

昆虫界 1(5):491-494.

六甲山並にその山麓一帯での甲虫目録ということになる。次のような記録があるが、学名などかなり訂正を要するものが含まれている。

p.491. ミズスマシ科. ミズスマシ、オオミズスマシ、ヒメミズスマシの3種。

p.493. ガムシ科. ゴマフガムシ、ヒメゴマフガムシ?、タマガムシ、ヒメガムシ、コガムシ、マメガムシ、ガムシ、マグソガムシ、チビガムシ = スジヒラタガムシ、スジヒメガムシの10種

14. 1934. 関 公一. 御影町附近産の甲虫目録(四)。

昆虫界 2(7):41-43.

ゲンゴロウ科7種が記録されている。即ち、クロゲンゴロウ、ゲンゴロウ、コガタノゲンゴロウ、ハイイロゲンゴロウ、シマゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、ケシゲンゴロウの7種が記録されている。

15. 1934. H.Kōno. Die Dryopiden aus Japan.

Ins. Mats. 8(3):124-128.

日本産ナガドROMシ科甲虫8属9種についての分類論文であり、この論文がオリジナルではないが、2種の次の兵庫県産記録種がある。

p.125. *Elmormorphus brevicornis* Sharp ムナビロツヤドROMシ Kobe, nach Sharp.

p.125-126. *Stenelmis foveicollis* Schönfeldt = *Ordobrevia* ホソナガドROMシ = キスジミソドROMシ Hiogo, nach Sharp.

16. 1934. 足立輝一. 生徒採集昆虫調査報告.
昆虫界 2(10):30-33.
モンキマメゲンゴロウ一頭多分猪名川産ならんとの記録あり。
17. 1935. 竹中眞一. 下畑よりの昆虫十二種.
昆虫界 3(13):98-100.
p.99. ヒラタドロムシを下畑より名取への路上に獲たる一頭のみとある(属名は変わる)。
18. 1938. 生駒健一. マダラシマゲンゴロウの多産地.
昆虫 XII:33.
神戸市多井畑からの記録である。現在状況が変わっているので、どのようになっているか調査の要あり。
19. 1938. 神谷一男. 日本産甲虫図譜〔三〕
日本の甲虫 2(1):1-9, pl.1.
p.2-3, pl.1, f.5, マダラシマゲンゴロウが生駒健一によれば神戸附近にてかなり多数採集されたとのこと。余も数頭の標本を頂いたとの記事がある。
20. 1940. 高橋寿郎. 神戸再度山附近産の甲虫目録.
昆虫世界 44(510):14-17.
ゲンゴロウ科12種、ミズスマシ科3種の記録。
ゲンゴロウ科 ゲンゴロウ、コガタノゲンゴロウ、クロゲンゴロウ、シマゲンゴロウ、マルガタゲンゴロウ、ハイイロゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、マメゲンゴロウ、ツブゲンゴロウ、スナムグリゲンゴロウ = キベリクロヒメゲンゴロウ、シャープツブゲンゴロウ。
ミズスマシ科 オオミズスマシ、ミズスマシ、ツマキレオナガミズスマシ。
21. 1940. 高橋寿郎. 神戸再度山附近産の甲虫目録(二).
昆虫世界 44(511):76-79.
ガムシ科5種を記録。ガムシ、タマガムシ、コガムシ、ヒメガムシ、マグソガムシ。
22. 1941. 野村 全. 武庫川採集行.
昆虫界 9(88):45-46. (昆虫趣味の会神戸支部報 No.6)
スナムグリマメゲンゴロウ = キベリクロヒメゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、ケシゲンゴロウ等を武庫川原溜まり水中より採集。
23. 1941. 谷口和義. 第5回例会記事. 武庫川にて歩行虫. 水棲昆虫採集会.
(昆虫趣味の会神戸支部報 No.6)
昆虫界 9(88):47
武庫川河原の中にできた水溜まりよりコガタノゲンゴロウ、ハイイロゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、シマゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、モンキマメゲンゴロウ、キベリマメゲンゴロウ、ケシゲンゴロウ、コシマチビゲンゴロウ、キスジチビゲンゴロウ(?)、オオミズスマシを採集。河原の外の水池にてコガタノゲンゴロウ、ヒメミズスマシを採集。
24. 1941. 増田 猛・橋本直也. 一中附近の昆虫 A 5, 39p. (孔版・単行本)
神戸一中(現神戸高校)附近産の甲虫と蝶の目録である(主として摩耶山を中心とした地域)。データは無い。同定の誤りとか学名の訂正の要などはある。ゲンゴロウ科次の4種が記録されている(p. 4)。ハイイロゲンゴロウ、ゲンゴロウ、シマゲンゴロウ、ケシゲンゴロウ。
25. 1941. Bollow, H. Monographie der palaearktischen Dryopidae mit Berücksichtigung der eventuell transgredierenden Arten (Col.)
Mitteilungen d. Münchn. Ent. Ges. XXXI (1941) H.1:1-88, Fig.1.
ヒメドロムシ科のうち主としてアシナガミゾドロムシ属 *Stenelmis* とヨコミゾドロムシ属 *Le-*

phthelmis の分類研究論文である。前者は42種が記述されうち14新種、後者は1新種2既知種が記載されている。兵庫県産として次の2種の記録がある。

p.21-23. *Stenelmis freyi* Bollow 新種記載である。Mte.Rokko Nahe Tokio, 18.V.1932 の1標本によるとされ全形図もついている。産地がはっきりわからない。東京附近には六甲山というのは無いと思うが。

p.82-83. *Stenelmis foveicollis* Schönf. T. Lenz 採集の Niogo 産標本が Senckenberg Museum in Frankfurt に保管されていると。残念ながら、両者とも現在の知見では *Ordobrevia foveicollis* (Schönfeldt, 1888) キスジミゾドロムシとなる。

26. 1942. 高橋寿郎. 神有沿線甲虫相(一)
昆虫世界 46(543):331-335.

ゲンゴロウ科14種、ミズスマシ科3種を記録。
ゲンゴロウ科、ゲンゴロウ、コガタノゲンゴロウ、クロゲンゴロウ、シマゲンゴロウ、マルガタゲンゴロウ、ハイイロゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、マメゲンゴロウ、ツブゲンゴロウ、スナムグリゲンゴロウ = キベリクロヒメゲンゴロウ、シャープツブゲンゴロウ、モンキマメゲンゴロウ、キベリマメゲンゴロウ。
ミズスマシ科、オオミズスマシ、ミズスマシ、ツマキリオナガミズスマシ = ツマキレオナガミズスマシ。

27. 1944. 谷口和義. 本州及び琉球より新発見の龍蝨4種

昆虫世界 48(561):88-90.

Agabus (Gaurodytes) browni Kamiya, 1934 チャイロマメゲンゴロウ 多井畑 1♀, 28.XI.1940 の記録がある(谷口採集)。

28. 1944. 関 公一. 日本産ゲンゴロウ科の数種に就いて

昆虫世界 48(561):90-92.

キボシゲンゴロウ *Hyphydrus flavomaculata* = *Nipponhydrus flovomaculatus* (Kamiya, 1938) 武庫川にて採集(lex., 31.V.1942, 関採集)

29. 1944. 谷口和義. 阪神地方の小頭水虫類
昆虫世界 48(562):114.

兵庫県産5種が記録されている。コガシラミズムシ、兵庫県武庫郡本山村、伊丹市、尼崎市、西宮市、神戸市多井畑。ヒメコガシラミズムシ、尼崎市、西宮市(瓦木、甲陽園)、神戸市多井畑。ヒョウゴコガシラミズムシ、伊丹市、神戸市多井畑、播磨育野ヶ原。チビコガシラミズムシ、武庫郡本山村、尼崎市、神戸市多井畑。マダラコガシラミズムシ、*Haliphus simplex* Clark で示されているが、現在 *Haliphus sharpi* Wehncke, 1880 の学名となる。武庫郡本山村 lex., 16.VII.1938. 燈火に飛来、阪口氏採集。

30. 1945. 関 公一. 阪神地方のゲンゴロウ科
昆虫世界 49(569):30-33.

兵庫県産16種のゲンゴロウの記録あり。コツブゲンゴロウ、芦屋、神戸市須磨区多井畑。ムツボシツヤコツブゲンゴロウ、垂水。ツブゲンゴロウ、武庫村、多井畑。垂水。コウベツブゲンゴロウ、武庫村。ルイスツブゲンゴロウ、多井畑、伊丹市、猪名川。シャープツブゲンゴロウ、多井畑、伊丹市、猪名川。キボシゲンゴロウ、武庫川(国道電車-省線間)。ケシゲンゴロウ、武庫川、住吉村、猪名川、多井畑。マルチビゲンゴロウ = *Clypeodytes*, 本山村、多井畑。キスデチビゲンゴロウ?、本山村、猪名川、垂水。コシマチビゲンゴロウ = *Nebrioporus*. 九州に分布する種で、ヒメシマチビゲンゴロウのことであると考えられる(中根, 1990)、武庫川、瓦木村、逆瀬川。キベリマメゲンゴロウ、武庫川、武庫村、甲陽園、猪名川、垂水。クロツマメゲンゴロウ、多井畑。マメゲンゴロウ、武庫川、多井畑。チャイロマメゲンゴロウ、多井畑。

31. 1945. 関 公一. 阪神地方のゲンゴロウ科(2)
昆虫世界 49(570):48-50.

兵庫県産として13種記録されている。スナムグリゲンゴロウ = キベリクロヒメゲンゴロウ, 武庫川, 多井畑, 垂水. ヒメゲンゴロウ, 武庫川, 武庫村, 瓦木村, 住吉村, 本山村, 猪名川, 多井畑. ハイイロゲンゴロウ, 武庫川, 武庫村, 住吉村, 本山村, 徳井(神戸), 多井畑, 伊丹, 猪名川. マルガタゲンゴロウ, 武庫村, 谷上(神戸北方), 猪名川, 伊丹. シマゲンゴロウ, 武庫川, 徳井, 伊丹, 猪名川, 多井畑. ウスチャゲンゴロウ *Hydaticus fabricii* Macleay = ウスイロシマゲンゴロウ *Hydaticus rhantoides* Sharp 武庫村, 瓦木村, 本山村, 垂水. コシマゲンゴロウ, 武庫川, 武庫村, 本山村, 甲陽園, 猪名川, 妙見山, 多井畑. マダラシマゲンゴロウ, 多井畑, 谷上. スジゲンゴロウ *Hydaticus vittatus* Fabricius = *H. satoi* Wewalka, 1975 淡路. クロゲンゴロウ, 武庫村, 尼崎市, 多井畑, 谷上, 垂水. マルコガタノゲンゴロウ, 徳井, 多井畑. コガタノゲンゴロウ, 武庫川, 武庫村, 伊丹.

32. 1946. 中根猛彦. 日向高鍋産甲虫類小録(IV).
昆虫世界 50(574):20-22.

チビガムシ(=キイロヒラタガムシ) *Enochrus simulans* (Sharpe, 1873) が西宮で普通に採集できるとの記がある。

33. 1949. 黒佐和義. 四国及び九州より発見の龍蝨7種.

近畿甲虫同好会々報 5(2):5-10.

Hyphydrus flavomaculatus Kamiya キボシケンゲンゴロウ 兵庫の記録あり。

34. 1950. 柴内俊次・中畔史雄. 神戸虫便り
札幌昆虫同好会々報 2(1):3-15.

次の各種について解説されている。

ヒョウゴコガシラミズムシ = キイロコガシラミズムシ, 池沼に普通。コウベツブゲンゴロウ, コ

セスジゲンゴロウ, Settsu(摂津)を基本産地としているがまだその後知られていない。チャイロマメゲンゴロウ, 神戸市東郊の甲陽園大池に多産。ウスイロシマゲンゴロウ, 神戸附近では各地の池沼に普通。キボシゲンゴロウ, 武庫川の一頭のみ。

35. 1950. 樋口繁一・橋本一廣・山田重次. 有馬郡生物誌(鞘翅目 pp.117-124)

兵庫県立有馬高等学校普通科生物教室刊。

次の水棲甲虫の記録がある。和名、学名のみでデータ無し。

コガシラミズムシ科1種. コガシラミズムシゲンゴロウ科11種. マメゲンゴロウ, キスジゲンゴロウ?, ゲンゴロウ, コガタノゲンゴロウ, シマチビゲンゴロウ, ゴマダラチビゲンゴロウ, ハイイロゲンゴロウ, コシマゲンゴロウ, スナムグリゲンゴロウ = キベリクロヒメゲンゴロウ, チャイロケンゲンゴロウ?, ヒメゲンゴロウ. ガムシ科5種. ゴマフガムシ, マビガムシ = スジヒラタガムシ, スジヒメガムシ, オホガムシ = ガムシ, シジミガムシ.

36. 1951. 山本義丸. 蛍光誘蛾燈に飛来する水棲甲虫の趨光性活動(第1報)

応用昆虫 7(1):20-24.

氷上郡柏原町にて蛍光誘蛾燈に飛来する水棲甲虫の飛来状況を調査した1948年7~9月に17回(うち終夜5回)、1949年6~10月に70回(うち終夜2回)の結果である。

飛来した種類は、ゲンゴロウ科14種、コガシラミズムシ科3種、ミズスマシ科3種、ガムシ科21種、ドROMシ科9種、ナガドROMシ科1種、計6科51種。

37. 1952. 山本義丸. 郷土・氷上郡の昆虫について

Natura (7):8-13. (兵庫県立柏原高等学校生物研究会刊)

具体的な表現での解説はごく一部分であるが、

ゲンゴロウ科17種と示されている。

38. 1952. 山本義丸. 兵庫県(丹波国)氷上郡より
記録する水棲甲虫

Ento. Investigation (中国地方昆虫誌) 2
(1):13-18.

全部で6科52種記録されているが、現在の知見
でかなり同定に不安のあるものを多く含んでいる。
注目種のみ次に記しておく。

コガシラミズムシ科3種、ゲンゴロウ科16種、ア
ヤナミツブゲンゴロウ = シャープツブゲンゴロウ、
ミズスマシ科4種、ガムシ科21種、ウスモンケシ
ガムシ *Cercyon quinquilius* L.(?) と記録。

Cercyon vagus Sharp 2mm 赤褐色とあるもの *C.*
olibrus Sharpe アカケシガムシならん。ナガド
ロムシ科1種、ドロムシ科7種、ヨコミソドロムシ
Stenelmis flavittatus Kono の学名で出ている種
は、次に記されているホソドロムシと同じキスジ
ミソドロムシ *Ordobrevia foveicollis* (Schön-
feldt, 1888) のこと。

キアシホソドロムシもよくわからない。キペリ
ドロムシ = キペリアシナガドロムシ、アワドロム
シ = アワツヤドロムシ *Awadoromus awanus* =
Zaitzevia。

39. 1952. 田口勝夫. 甲虫の趨光性(蛍光灯と昆虫)
(1)

兵庫生物 2(1):33.

神戸市立妙法寺小学校自然教育学習園で行った
昆虫の夜間採集のうち、8月、9月、10月、11月
の各月の代表4日間の詳しい採集データが示され
ている。その中で、水棲甲虫類も多くやって来て
いる記録が含まれている。ここでは来集した種名
を次のとおり示しておく。

コガシラミズムシ科(具体的種名の記録はないが、
来集した個体数は大変多く記録されている。)
ハイイログンゴロウ、コシマゲンゴロウ、シマゲ
ンゴロウ、コガタゲンゴロウ、ムツボシゲンゴロ

ウ = ムツボシツヤコツブゲンゴロウ、ヒメゲンゴ
ロウ、マルガタゲンゴロウ、コガムシ、ヒメガム
シ、オオガムシ = ガムシ、コガタガムシ、オオミ
ズスマシ。

40. 1952. 山本義丸. 蛍光誘蛾灯に飛来する水棲
甲虫の趨光性活動(第2報)

兵庫生物 2(2):91-93.

氷上郡柏原町において水田の傍に設けられた蛍
光誘蛾灯の1基に集まるコシマゲンゴロウとヒメ
ガムシ、コガムシの飛来性比とか飛来数と各気象
条件との相関などについて説明されている。

41. 1955. 御勢久右衛門. 日本産ドロムシ科幼虫
の研究

新昆虫 8(12):9-14.

次のように兵庫県下産の記録はあるが種名がわ
からない。p.10-11. ヒラタドロムシ 氷上郡久下
村篠山川 21.VII.1951. p.13-14. *Elmis* sp. ^{ED}
豊能郡多田村猪名川 21.I.1953. p.14. *EL-*
MIS sp. ^{EE} 豊能郡多田村西川 25.V.1951.
Stenelmis sp. ^{SA} 兵庫県加古川 23.VII.1951.
Stenelmis sp. ^{SB} 兵庫県加古川 23.VII.1951.

42. 1955. 大倉正文. 「原色 日本昆虫図鑑 甲
虫編」

増補改定版 (保育社・大阪)

兵庫県産次の種がカラーで図示されている。

p1.64, p.203. コガシラミズムシ科4種. 1418.コ
ガシラミズムシ 昆陽池. 1419.チビコガシラミ
ズムシ 武庫川. 1420.ヒメコガシラミズムシ 昆
陽池. 1421.マダラコガシラミズムシ 西宮.
p.204. ミズスマシ科1種. 1424.ツマキレオナガ
ミズスマシ 猪名川. ゲンゴロウ科17種. 1425.
ゲンゴロウ 神戸市山田. 1426.クロゲンゴロウ
神戸市山田. 1427.コガタノゲンゴロウ 広田山.
1428.マルコガタノゲンゴロウ 昆陽池. p.205.
1431.マルガタゲンゴロウ 昆陽池. 1432.シマゲ

ンゴロウ 昆陽池. 1433. ハイイロゲンゴロウ 広田山. 1434. ヒメゲンゴロウ 昆陽池. 1435. コシマゲンゴロウ 昆陽池. 1437. キベリクロヒメゲンゴロウ 西宮. 1438. モンキマメゲンゴロウ 武庫川. 1439. テラニシセスジゲンゴロウ = コセスジゲンゴロウ? 本山. p.206. 1441. コシマチビゲンゴロウ 武庫川 = ヒメシマチビゲンゴロウ. 1442. ケシゲンゴロウ 昆陽池. 1444. タテナミツブゲンゴロウ 昆陽池 = ルイスマツブゲンゴロウ. 1445. アヤナミツブゲンゴロウ 広田山 = シャープツブゲンゴロウ. 1446. ムツボシツヤコツブゲンゴロウ 多井畑.

43. 1956. 三浦佳文・森本義信・横田利彦. 生きた化石・県下の地下動物
兵庫県生物誌: 43-47. A5 (兵庫県生物学会刊)
姫路、相生市のメクラゲンゴロウに関する研究.

44. 1956. Janssens, E. Contribution a l'étude des Insects Torrenticoles (Coleoptera, Elmidae)
Bull. Inst. r. Sci. nat. Belgique., 32 (44):1-4.

p.2-3, fig.1 に *Stelnelmis japonica* Janson なる新種を図とともに記載されている。タイプ標本はKobe産1♀ (coll. Baker) である。残念ながら、この種は *Ordobrevia foveicollis* (Schönfeldt) キスジミゾドロムシのシノニムである。

45. 1957. Uéno, S.I. Blind aquatic beetles of Japan, with some accounts of the fauna of Japanese subterranean waters.

Arch. f. Hydrobiol., 53:250-295, 3pls.
ムカシゲンゴロウ *Phraetodyteres relictus* S. Uéno (姫路産) の新属新種、メクラゲンゴロウ *Morimotoa phreatica* S. Uéno (姫路市、相生市)、subsp. *miurai* S. Uéno (柏原) の新属、新種、新

亜種の記載が発表されている。

46. 1957. 大倉正文. *Copelatus parallelus* Zimmermann コセスジゲンゴロウについて
昆虫学評論 8(1):22.

表題の種が淀川原(大阪府北河内郡守口町附近)で採集できたとして記載されている。本種は摂津産で記載された種で、この摂津が何処を示しているのかよくわからない。兵庫県、大阪府のどちらかでの産だと思うが現在このあたりにいるのかどうか大変疑問な種である。

47. 1958. 佐藤正孝. キボシケシゲンゴロウの分布と2新種について
昆虫学評論 9(1):13-14.
キボシゲンゴロウ 兵庫県柏原 5exs., 25.VII. 1950 山本採集の記録あり。

48. 1958. Nomura, S. Drei neue *Stenelmis*-Arten aus Japan (Coleoptera, Elmidae)
Entom. Rev. Japan 9(2):41-45, pl.8.
兵庫県産ヒメドロムシ2新種の記載あり。
p.41-42. *Stenelmis nipponica* Nomura (pl.8, fig.1). 4exs. Kakogawa. 3-4 & 5-6.VII.1954, H. Ishida leg. p.44-45. *Stenelmis vulgaris* Nomura (pl.8, f.3). 1ex., Sasayama, Hyogo Pref. 28.VI.1952, T. Nakane leg.

49. 1958. 山本義丸. 兵庫県氷上郡昆虫目録
NATURA 特別号 氷上の自然第3集
氷上郡産水棲甲虫 コガシラミズムシ科3種、ゲンゴロウ科21種、ミズスマシ科5種、ホソガムシ科1種、ガムシ科21種、ナガドロムシ科1種、ドロムシ科7種、合計6科59種の記録がある。中に若干よくわからない種が含まれている。

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

波賀町引原ダム周辺における蛾相 第2報

(兵庫県産蛾類分布資料・2)

高島 昭

前報(ヤガ科、トラガ科)に引き続きシャクガ科からヒトリガ科までの記録を報告する。そのうちシャチホコガ科、スズメガ科については同地での過去の記録があるが、それ以外はデータが見あたらないので、西播地域の山地の蛾相を見るうえで基礎データになると思われる。採集場所や条件等は前報と同じである。なお、配列や表記方法は講談社の日本産蛾類大図鑑によった。

筆者は兵庫県産蛾類分布のデータベース作成を目標にデータを収集している。目下の所完璧な資料にはほど遠いが、現在まで集まった文献等を参考にこれまで県下での記録がないと思われる種に和名の前に★印を付したが、筆者の浅学故誤りも多々あると思う。この点について御教示頂ければ幸いである。なお、注目すべき種には簡単なコメントを付した。

イラガ科 (LIMACODIDAE)

Narosoideus flavidorsalis (Staudinger)

ナシイラガ

18.VI.1988 2♂, 26.VI.1988 1♂

2.VII.1988 1♀

Monema flavescens Walker

イラガ

2.VII.1988 1♂, 16.VII.1988 1♂

Austrapoda dentata (Oberthür)

ムラサキイラガ

18.VI.1988 1♂

Parasa sinica Moore

クロシタイラガ

26.VI.1988 1♀

Phlossa conjuncta (Walker)

タイワンイラガ

2.VII.1988 1♂, 9.VII.1988 1♂

シャクガ科 (GEOMETRIDAE)

<ホシシャク亜科 OENOCHROMINAE>

Inurois membranaria (Christoph)

クロテンフユシャク

24.III.1988 1♂

<アオシャク亜科 GEOMETRINAE>

Pingasa alba Swihoe

オオシロアヤシャク

16.VII.1988 1♀

Pingasa aigner Prout

ウスアオアヤシャク

9.VII.1988 1♂

Pachyodes superans (Butler)

オオアヤシャク

5.IX.1987 lex.

Dicdica virescens (Butler)

ウスアオシャク

25.VIII.1987 lex.

Mioxochlora vittata (Moore)

ヒメカギバアオシャク

17.IX.1988 1♀

Tanaorhinus reciprocata (Walker)

カギバアオシャク

10.IX.1987 lex.

Geometra dieckmanni Graeser

カギシロスジアオシャク

10.IX.1987 lex., 18.VI.1988 1♂

9.VII.1988 1♀

Geometra glaucaria Ménétriers

コシロオビアオシャク

9.VII.1988 1♀

Neohipparchus vallata (Butler)

キマエアオシャク

29.VII.1988 1♀, 5.VIII.1988 1♀

Gelasma albistrigata Warren

スジモンツバメアオシヤク

15.VI.1988 1♀

Gelasma ambigua (Butler)

ツバメアオシヤク

9.VII.1988 1♀

Gelasma fuscifrons Inoue

ズグロツバメアオシヤク

26.VI.1988 1♂

Hemithea marina (Butler)

アオスジアオシヤク

15.VI.1988 1♀

Chlorissa anadema (Prout)

ホソバハラアカアオシヤク

18.VI.1988 1ex.

Comibaena procumbaria (Pryer)

ヨツモンマエジロアオシヤク

22.IX.1988 1♂

Comibaena amoenaria (Oberthür)

ヘリジロヨツメアオシヤク

7.IX.1988 1♂

Comibaena argentataria (Leech)

ギンスジアオシヤク

5.VIII.1988 1♂

Comibaena delicatior (Warren)

クロモンアオシヤク

5.IX.1987 1ex., 10.IX.1987 1ex.

25.VII.1988 1♀, 7.IX.1988 1♀

Comostola subtiliaria (Bremer)

コヨツメアオシヤク

17.IX.1988 1♂1♀, 22.IX.1988 1♂

<ヒメシヤク亜科 STERRHINAE>

Timandra dichela (Prout)

ウスベニスジヒメシヤク

17.IX.1988 1♂, 22.IX.1988 1♀

Problepsis superans (Butler)

ヒトツメオオシロヒメシヤク

10.VIII.1987 1ex.

Scopula umblelaria (Hübner)

★スミレシロヒメシヤク

26.V.1988 1♂

なぜか記録が見あたらない。西播では普通種である。

Scopula pudicaria (Motschulsky)

クロスジシロヒメシヤク

29.VIII.1988 1♂

Scopula floslactata (Haworth)

★ヤスジマルバヒメシヤク

16.V.1988 1♂

Scopula tenuisocius Inoue

アメイロヒメシヤク

18.VI.1988 1♂

Scopula ignobilis (Warren)

ウスキクロテンヒメシヤク

16.VII.1988 1♀, 9.VIII.1988 1♀

17.IX.1988 1♀

<ナミシヤク亜科 LARENTIINAE>

Carige cruciplaga (Walker)

ホシスジトガリナミシヤク

9.VII.1988 1♂

Typloptera bella (Butler)

ホソバナミシヤク

7.VI.1988 1♂, 20.VIII.1988 1♂

Xanthorhoe quadrifasciata (Clerck)

★ヨスジナミシヤク

7.IX.1988 1♀

Xanthorhoe saturata (Guenée)

フトジマナミシヤク

26.VI.1988 1♂

Microcalcarifera obscura (Butler)

フタモンクロナミシヤク

2.VII.1988 1♀

Photoscotosia atrosreigata (Bremer)

ネグロウスベニナミシヤク

7.X.1988 1♀

- Calleulype whitelyi* (Butler)
ツマキシロナミシヤク
26.VI.1988 1♀
- Eucosmabraxas placida* (Butler)
キベリシロナミシヤク
29.VII.1988 1♀, 9.VIII.1988 1♂
- Gandaritis fixseni* (Bremer)
キマダラオオナミシヤク
10.VIII.1987 1ex., 19.X.1988 1♂
- Gandaritis agnes* (Butler)
キガシラオオナミシヤク
9.VII.1988 1♀
- Evecliptopera decurrens* (Moore)
セスジナミシヤク
16.V.1988 1ex., 16.VII.1988 1♀
1.X.1988 1♀
- Ecliptopera umbrosaria* (Motshulsky)
オオハガタナミシヤク
26.V.1988 1♀, 18.VI.1988 1♀
25.VII.1988 1♂1♀
- Eustroma japonicum* Inoue
キアミメナミシヤク
1.IX.1988 1♂
- Eustroma melancholicum* (Butler)
ハガタナミシヤク
26.IX.1987 1ex., 29.VII.1988 1♀
7.IX.1988 1♀
- Sibatania mactata* (Felder & Rogenhofer)
ビロードナミシヤク
26.IX.1987 1ex., 15.VI.1988 1♂
- Dysstroma cinereata* (Moore)
フタテンナカジロナミシヤク
15.VI.1988 1♂
- Pennithera comis* (Butler)
クロオビナミシヤク
19.X.1988 1♀
- Xenortholitha propinguata* (Kollar)
フタクロテンナミシヤク
2.VII.1988 1♂, 7.X.1988 1♀
- Eupithecia tripunctaria* Inoue
★シロテンカバナミシヤク
1.X.1988 1♀
- Melanthia procellata* (Denis & Schiffermüller)
ナカジロナミシヤク
26.VII.1988 1♀, 17.IX.1988 1♀
- <エダシヤク亜科 ENNOMINAE>
- Abraxas latifasciata* Warren
ヒトスジマダラエダシヤク
26.V.1988 1♂
- Abraxas miranda* Butler
ユウマダラエダシヤク
20.VII.1988 1♂
- Peratophyga hyalinata* (Kollar)
クロフヒメエダシヤク
5.VIII.1988 1♀, 17.IX.1988 1♀
- Lomograaha simplicior* (Butler)
クロズウスエダシヤク
1.X.1988 1♂
- Lomograaha temerata* (Denis & Schiffermüller)
バラシロエダシヤク
28.IV.1988 1♂
- Ninodes splendens* (Butler)
ウチムラサキヒメエダシヤク
26.V.1988 1♀
- Myrteta punctata* (Warren)
ホシスジシロエダシヤク
20.VII.1988 1♂
- Taeniophora unio* (Oberthür)
ミスジシロエダシヤク
7.VI.1988 1♀
- Cabera griseolimbata* (Oberthür)
アトグロアミメエダシヤク
9.VII.1988 1♀
- Parabapta clarissa* (Butler)
ウスアオエダシヤク
16.V.1988 1♂, 26.VI.1988 1♀

Euchristophia cumulata (Christoph)

ウスオビヒメエダシヤク

9.VIII.1988 1♂

Synegia hadassa (Butler)

ハグルマエダシヤク

16.VII.1988 1♀, 5.VIII.1988 1♀

7.IX.1988 1♀

Synegia esther Butler

クロハグルマエダシヤク

18.VI.1988 1♀

Petelia rivulosa (Butler)

コトビスジエダシヤク

29.VII.1988 1♀

Krananda semihyalina Moore

スカシエダシヤク

20.VIII.1988 1♂

Culcula panterinaria (Bremer & Grey)

キオビゴマダラエダシヤク

15.VI.1988 1♂

Antipercnia albinigrata (Warren)

ゴマダラシロエダシヤク

11.VIII.1987 1♀, 2.VII.1988 1♀

Arichanna jaguararia (Guenée)

ヒョウモンエダシヤク

2.VII.1988 1♂

Jankowskia pseudathleta Sato

キタウンモンエダシヤク

26.VI.1988 1♂, 2.VII.1988 1♂1♀

Jankowskia fuscaria (Leech)

チャノウモンエダシヤク

7.IX.1988 1♀, 22.IX.1988 1♀

Cleora insolita (Butler)

ルリモンエダシヤク

16.V.1988 2♀

Protoarmia simplicaria (Leech)

オレクギエダシヤク

9.VIII.1988 1♀

Alcis angulifera Inoue

ナカウスエダシヤク

18.VI.1988 1♂, 2.VII.1988 1♀

17.IX.1988 2♀, 22.IX.1988 1♀

1.X.1988 1♀, 19.X.1988 2♂6♀

Rikiosatoa grisea (Butler)

フタヤマエダシヤク

17.IX.1988 1♂

Ramobia mediodivisa Inoue

★ナカシロネグロエダシヤク

19.X.1988 1♂

大図鑑¹⁾によると北海道、東北地方から中部地方にかけて分布するとある。*Deileptenia ribeata* (Clerck)

マツオオエダシヤク

17.IX.1988 1♀, 22.IX.1988 1♀

Hypomecis roboraria (Denis & Schifferrüller)

ハミスジエダシヤク

25.VIII.1987 1ex., 7.IX.1988 1♀

Hypomecis definita (Butler)

ナカシロオビエダシヤク

20.VIII.1988 1♀

Hypomecis punctinalis (Scopoli)

ウスバミスジエダシヤク

26.V.1988 1♂

Microcalicha fumosaria (Leech)

★クロオオモンエダシヤク

22.IX.1988 1♀

Microcalicha sordida (Butler)

シタクモエダシヤク

16.VII.1988 1♂

Phthonosema tendinosaria (Bremer)

リンゴツノエダシヤク

18.VI.1988 1♂, 26.VI.1988 1♀

25.VII.1988 1♂

Ophthalmitis albosignaria (Bremer & Grey)

ヨツメエダシヤク

26.VI.1988 1♂

Ascotis selenaria (Denis & Schiffermüller)

ヨモギエダシヤク

11.VIII.1987 1♀, 15.VI.1988 1♂

16.VII.1988 1♂, 29.VII.1988 1♀

5.VIII.1988 1♀

Paradarisa chloauges Prout

ヒロバウスアオエダシヤク

2.VII.1988 1♂, 22.IX.1988 1♂

1.X.1988 1♀, 19.X.1988 2♂

Paradarisa consonaria (Hübner)

★シナトビスジエダシヤク

9.VII.1988 1♀

普通種のようなのであるが県下での記録は見あたらない。

Heterarmia costipunctaria (Leech)

マエモンキエダシヤク

26.VI.1988 1♀

Heterarmia charon (Butler)

ナミガタエダシヤク

26.VI.1988 1♀

Cusiala stipitaria (Oberthür)

セプトエダシヤク

16.V.1988 1♂, 19.X.1988 1♂

Ectropis crepuscularia (Denis & Schiffermüller)

フトフタオビエダシヤク

24.III.1988 1♂

Ectropis excellens (Butler)

オオトビスジエダシヤク

25.VII.1988 1♀

Phanerothyris sinearia (Guenée)

ウスグロナミエダシヤク

18.VI.1988 1♂, 9.VIII.1988 1♀

Hirasa paupera Butler

クロスジハイイロエダシヤク

7.VI.1988 1♀, 17.IX.1988 1♂

少ない種のようなのである。これまで氷上郡²⁾での記録がある。

Xandrames dholaria Moore

ヒロオビオオエダシヤク

11.VIII.1987 1♂, 1.IX.1988 1♂

Duliophyle majuscularia (Leech)

オオトビエダシヤク

5.IX.1987 1♂, 7.IX.1988 1♂

Scionomia mendica (Butler)

ソトキクロエダシヤク

2.VII.1988 1♀, 1.IX.1988 1♂

17.IX.1988 1♂1♀

Thinopteryx crocoptera (Kollar)

キマダラツバメエダシヤク

11.VIII.1987 1ex.

Biston regalis (Moore)

ハイイロオオエダシヤク

25.VII.1988 2♂

Amraica superans (Butler)

ウスイロオオエダシヤク

18.VI.1988 1♂, 26.VI.1988 1♂

25.VII.1988 1♀(黒化型)

Wilemania nitobei (Nitobe)

ニトベエダシヤク

19.X.1988 1♂

Pachyligia dolosa Butler

アトジロエダシヤク

28.IV.1988 1♀

Descoreba simplex Butler

ハスオビエダシヤク

16.V.1988 1♀

Angerona nigrisparsa Butler

ゴマフキエダシヤク

7.VI.1988 1♂, 9.VIII.1988 1♂

Bizia aexaria Walker

ツマキトビエダシヤク

16.VII.1988 1♂

Exangerona pattiaria (Leech)

オイワケキエダシヤク

18.VI.1988 1♀, 17.IX.1988 1♂

Kenophra senilis (Butler)

ウスクモエダシヤク

25.VIII.1987 1ex., 16.V.1988 1♂

5.VIII.1988 1♀

Scardamia aurantiacaria Bremer

サラサエダシヤク

7.VI.1988 1♀

Nothomiza formosa (Butler)

マエキトビエダシヤク

26.V.1988 1♂

Odontopera arida (Butler)

エグリツマエダシヤク

26.IX.1987 1ex., 24.III.1988 1♂

28.IV.1988 1♀

Xerodes albonotaria (Bremer)

モンシロツマキリエダシヤク

7.VI.1988 1♀, 15.VI.1988 1♂

18.VI.1988 1♂

Xerodes rufescentaria (Motschulsky)

ミスジツマキリエダシヤク

16.V.1988 1♀, 26.V.1988 1♂1♀

Auaxa sulphurea (Butler)

キエダシヤク

9.VII.1988 1♀

Fascellina chromataria Walker

エグリエダシヤク

26.V.1988 1♀, 9.VII.1988 1♀

Selenia tetralunaria (Hufnagel)

ムラサキエダシヤク

16.V.1988 1♂

Garaeus specularis Moore

キバラエダシヤク

16.VII.1988 1♂, 7.X.1988 1♂

19.X.1988 1♂

Endropiodes indictinaria (Bremer)

★モミジツマキリエダシヤク

16.V.1988 1♂

普通種であるがなぜか記録が見あたらない。筆

者は相生市でも採集している。

Heterolocha aristonaria (Walker)

ウラベニエダシヤク

29.VII.1988 1♂, 9.VIII.1988 1♀

Spilopera debilis (Butler)

ツマトビシロエダシヤク

15.VI.1988 1♂, 2.VII.1988 1♀

7.IX.1988 1♀

Corymica pryori (Butler)

ウコンエダシヤク

29.VII.1988 1♀

Ourapteryx japonica Inoue

フトスジツバメエダシヤク

5.IX.1987 1ex.

大阪府境の妙見山³⁾での記録がある。*Ourapteryx nivea* Butler

ウスキツバメエダシヤク

26.IX.1987 2exs., 7.VI.1988 1♀

カギノミガ科 (DREPANIDAE)

<カギバガ亜科 DREPANINAE>

Agnidra scabiosa (Butler)

マエキカギバ

26.VI.1988 1♂

Pseudalbara parvula (Leech)

ヒメハイイロカギバ

5.VIII.1988 1♀

Nordstromia japonica (Moore)

ヤマトカギバ

22.IX.1988 1♂

Nordstromia grisearia (Staudinger)

エゾカギバ

7.VI.1988 1♂, 17.IX.1988 1♀

Drepana curvatula (Borkhausen)

オビカギバ

1.IX.1988 1♀

比較的少ないようで、氷ノ山⁴⁾と朝来郡の須留ヶ峰⁵⁾の記録がある。

Tridrepana crocea (Leech)

ウコンカギバ

7.VI.1988 1♂, 5.VII.1988 1♂

9.VII.1988 1♀, 1.X.1988 1♂

Callidrepana patrana (Moore)

ギンモンカギバ

29.VII.1988 1♂, 17.IX.1988 1♀

Callidrepana Palleola (Motschulsky)

★ウスイロカギバ

5.IX.1987 1♂, 25.VII.1988 1♂

Deroca inconclusa (Walker)

ホシベッコウカギバ

9.VIII.1988 1♀

Callicilix abraxata Butler

マダラカギバ

5.IX.1987 1♂

Auzata superba (Butler)

ヒトツメカギバ

26.IX.1987 lex., 2.VII.1988 1♀

17.IX.1988 1♂1♀

Macrocilix mysticata (Walker)

ウスギヌカギバ

20.VIII.1988 1♀

<フトカギバ亜科 ORETINAE>

Oreta pulchripes Butler

アシベニカギバ

10.IX.1987 1♂, 18.VI.1988 1♂

22.IX.1988 1♀

Oreta turpis Butler

クロスジカギバ

9.VII.1988 1♀

Hypsomadius insignis Butler

アカウラカギバ

5.VII.1988 1♀, 22.IX.1988 1♀

7.X.1988 1♂

オオカギバガ科 (CYCLIDIDAE)

Cyclidia substigmata (Hübner)

オオカギバ

12.VIII.1987 1♂

Nimozethes argentilinearia (Leech)

ギンスジカギバ

(ギンスジフタオ)

9.VII.1988 1♂1♀

トガリノマガ科 (THYATIRIDAE)

Euparyphasma maxima (Leech)

ナガトガリバ

5.IX.1987 lex.

Thyathia batis (Linnaeus)

モントガリバ

25.VII.1987 lex., 5.IX.1987 lex.

18.VI.1988 1♂, 1.IX.1988 1♂

22.IX.1988 1♂

Macrothyatira flavida (Butler)

キマダラトガリバ

26.VIII.1988 1♂, 1.IX.1988 1♂

Habrosyne pyritoides (Hufnagel)

アヤトガリバ

25.VIII.1987 lex., 5.IX.1987 lex.

17.IX.1988 1♂

Habrosyne fraterna Moore

オオアヤトガリバ

26.IX.1987 3exs.

Tethea octogesima (Butler)

ホソトガリバ

9.VII.1988 1♂

Tethea consimilis (Warren)

オオマエベニトガリバ

2.VII.1988 1♀

Tetheella fluctuosa (Hübner)

★ヒトテントガリバ

1.IX.1988 1♀

Parapsestis argenteopicta (Oberthür)

ギンモントガリバ

2.VII.1988 1♀

Mimopsestis basalis (Wileman)

★ネグロトガリバ

25.VIII.1987 1ex., 9.VII.1988 1♂

Betapsestis umbrosa (Wileman)

タケウチトガリバ

9.VII.1988 1♂, 20.VIII.1988 2♂

山地性の種と思われる。氷ノ山⁶⁾で記録がある。

アゲハモドキガ科

(EPICOPIDAE)

Epicopeia hainesii Holland

アゲハモドキ

12.VIII.1987 2exs.

フタオガ科 (EPIPLEMIDAE)

Epiplema moza (Butler)

クロホシフタオ

20.VIII.1988 1♂, 7.X.1988 1♂

Epiplema illotata (Christoph)

★ヒメクロホシフタオ

7.IX.1988 1♂

大図鑑によると近畿地方は分布の空白地となっている。

カレハガ科 (LASIOCAMPIDAE)

Gastropacha populifolia (Esper)

ホシカレハ

1.X.1988 1♀

Euhrix albomaculata (Bremer)

タケカレハ

5.IX.1987 1♂, 26.VIII.1988 1♀

Somadasya brevivenis (Butler)

ギンモンカレハ

16.V.1988 1♂, 9.VII.1988 1♂1♀

Odonestis pruni (Linnaeus)

リンゴカレハ

5.IX.1987 1♂1♀

Dendrolimus superans (Butler)

マツカレハ

25.VII.1988 1♂1♀

オビガ科 (EUPTEROTIDAE)

Apha aequalis (Felder)

オビガ

25.VIII.1987 2exs., 10.IX.1987 1ex.

カイコガ科 (BOMBYCIDAE)

Bombyx mandarina (Moore)

クワコ

25.VII.1988 1♂, 5.VIII.1988 1ex.

19.X.1988 1♂

Oberthueria falcigera (Butler)

オオクワゴモドキ

7.VI.1988 1♂, 15.VI.1988 1♀

ヤママユガ科 (SATURNIIDAE)

Antheraea yamamai (Guérin-Méneville)

ヤママユガ

25.VIII.1987 1♂

Rhodinia jankowskii (Oberthür)

★クロウスタビガ

10.X.1988 1♂⁷⁾ *既報

引原ダム付近ではときどき採れるようである。

Actais artemis (Bremer & Grey)

オオミズアオ

16.V.1988 2♂

スズメガ科 (SPHINGIDAE)

<スズメガ亜科 SPHINGINAE>

Agrius convolvuli (Linnaeus)

エビガラスズメ

26.IX.1987 2exs.

Acherontia styx crathis Rothchild & Jordan

メンガタスズメ

11.VIII.1987 1♂, 25.VII.1988 1♂

Psilogramma increta (Walker)

シモフリスズメ
 11.VIII.1987 1♂2♀
Sphinx constricta Butler
 コエビガラスズメ
 29.VII.1988 1♂
 少ない種のようなのである。
Dolbina tancrei Staudinger
 サザナミスズメ
 11.VIII.1987 2♂
Dolbina exacta Staudinger
 ヒメサザナミスズメ
 11.VIII.1987 1♂, 9.VIII.1987 1♂
Kentochrysalis consimilis Rothchild & Jordan
 クロテンケンモンズズメ
 11.VIII.1987 2♂, 16.V.1988 1♂
 26.V.1988 1♂, 15.VI.1988 1♂
Ambulyx schaufelbergeri Bremer & Grey
 モンホソバスズメ
 25.VIII.1987 1♂
Ambulyx ochracea Butler
 ホソバスズメ
 11.VIII.1987 3♂
Ambulyx japonica Rothchild
 フトオビホソバスズメ
 26.V.1988 1♂
Clanis billineata (Walker)
 トビイロスズメ
 11.VII.1987 1♂
Marumba gaschkewitschii (Bremer & Grey)
 モモズメ
 11.VIII.1987 1♂, 7.VI.1988 1♂
Marumba sperchius (Ménétrières)
 クチバスズメ
 16.VII.1988 1♀
Mimas tiliae christophi (Staudinger)
 ★ヒサゴズズメ
 16.VII.1988 1♂

県下での記録は見あたらない。少ない。
Callambulyx tatarinovii (Bremer & Grey)
 ウンモンズズメ
 16.VII.1988 1♂
Phillosphingia dissimilis (Bremer)
 エゾズズメ
 7.VI.1988 1♂
 <ホウジャク亜科 MACROGLOSSINAE>
Ampelophaga rubiginosa Bremer & Grey
 クルマズズメ
 11.VIII.1987 5♂
Acosmeryx naga (Moore)
 ハネナガブドウズズメ
 28.IV.1988 1♂, 26.V.1988 1♂
Acosmeryx castanea Rothchild & Jordan
 ブドウズズメ
 25.VII.1988 1♂
Macroglossum saga Butler
 クロホウジャク
 16.VII.1988 1♂
Deilephila elpenor lewisii Butler
 ペニスズメ
 12.VIII.1987 1♂
Theretra nessus (Drury)
 キイロスズメ
 25.VIII.1987 1♂
Theretra japonica (Boisduval)
 コスズメ
 12.VII.1987 1♂
Rhagastis mongoliana (Butler)
 ピロードズズメ
 12.VII.1987 2♂

シャチホコガ科
 (NOTODONTIDAE)
Tarsolepsis japonica Wileman & South
 ギンモンズズメモドキ
 9.VII.1988 1♂

Stauropus fagi (Linnaeus)

シャチホコガ

28.IV.1988 1ex., 15.VI.1988 1♀

18.VI.1988 1♀, 9.VIII.1988 1♂

Neostauropus basalis (Moore)

ヒメシャチホコ

16.V.1988 1♂, 26.V.1988 1♂

7.VI.1988 1♂, 25.VII.1988 1♀

Palaeostauropus obliterated (Wileman & South)

ゴマダラシャチホコ

10.IX.1987 1♀

日本特産種。大図鑑によると生活史等よくわかっていない。少ないようで県下では過去に引原ダム⁸⁾での記録が唯一である。

Quadricalcarifera pryleri (Leech)

ブライヤアオシャチホコ

5.VIII.1988 1♂

Quadricalcarifera japonica (Nakatomi)

アオシャチホコ

9.VIII.1988 1♂, 20.VIII.1988 2♂

Quadricalcarifera cyanea (Leech)

オオアオシャチホコ

10.VIII.1987 1ex., 9.VII.1988 1♂

1.IX.1988 1♀

Cnethodonta grisescens Staudinger

バイバラシロシャチホコ

18.VI.1988 1♀, 25.VII.1988 1♂

Cnethodonta japonica Sugi

シロシャチホコ

5.IX.1987 1ex., 15.VI.1988 1♂

9.VII.1988 1♂, 25.VII.1988 1♂

29.VII.1988 1♂1♀

Shachia circumscripta (Butler)

ニッコウシャチホコ

2.VII.1988 1♂

Cerura erminea menciaana (Moore)

オオモクメシャチホコ

2.VII.1988 1♂

Cerura tattakana Matsumura

タツタカモクメシャチホコ

18.VI.1988 1♀, 26.VI.1988 1♀

Harpyia umbrosa (Staudinger)

ギンシャチホコ

15.VI.1988 1♀, 16.VII.1988 1♂

Uropyia meticulodina (Oberthür)

ムラサキシシャチホコ

16.V.1988 1♂, 7.VI.1988 1♂

Fentonia ocypete (Bremer)

ホソバシャチホコ

11.VIII.1987 1♀, 9.VII.1988 3♀

25.VII.1988 1♀

Eufentonia nipponica (Wileman)

オオネグロシャチホコ

9.VII.1988 1♂, 9.VIII.1988 1♂

Phalera angustipennis Matsumura

ムクツマキシシャチホコ

9.VII.1988 1♂, 29.VII.1988 1♂

Phalera assimilis (Bremer & Grey)

ツマキシシャチホコ

9.VII.1988 1♀

Phalera flavescens (Bremer & Grey)

モンクロシャチホコ

16.VII.1988 1♀, 29.VII.1988 1♀

Ellida branickii (Oberthür)

★クロテンシャチホコ

7.VI.1988 1♀, 15.VI.1988 1♀

Ellida viridimixta (Bremer)

シロテンシャチホコ

20.VIII.1988 2♂

Nerice bipartita Butler

ナカスジシャチホコ

11.VIII.1987 1♂, 7.VI.1988 1♂

18.VI.1988 1♂, 6.VII.1988 1♂

Hupodonta corticalis Butler

カバイロモクメシャチホコ

12.VIII.1987 1♀, 5.VIII.1988 1ex.

Neopheosia fasciata (Moore)

ヘリスジシャチホコ

(ウススジシャチホコ)

16.V.1988 1♀

Zaranga permagna (Butler)

アオバシャチホコ

15.VI.1988 1♀, 20.VIII.1988 1♂

Shaka atrovittatus (Bremer)

クビワシャチホコ

12.VIII.1987 1♂, 18.VI.1988 1♂

5.VIII.1988 1♂

Lophocosma sarantuja Schintlmeister & Kinoshita

クロスジシャチホコ

10.IX.1987 lex.

Rablala criatata (Butler)

セダカシャチホコ

11.VIII.1987 1♀, 18.VI.1988 1♀

Rablala splendida (Oberthür)

アオセダカシャチホコ

25.VIII.1987 lex.

Notodonta albicosta (Matsumura)

マエジロシャチホコ

29.VII.1988 1♂

Notodonta dembowskii Oberthür

★ウチキシシャチホコ

25.VII.1988 1♂

大図鑑では北海道から中部山地に産するとある。

Peridea lativitta (Wileman)

アカネシャチホコ

20.VIII.1988 1♂2♀

Peridea gigantea Butler

ナカキシシャチホコ

10.VIII.1987 lex., 5.IX.1987 lex.

2.VII.1988 1♀, 26.VIII.1988 1♀

22.IX.1988 1♀

Peridea oberthueri (Staudinger)

ルリモンシャチホコ

5.IX.1987 lex., 20.VIII.1988 1♂

Peridea rotundata (Matsumura)

マルモンシャチホコ

9.VII.1988 1♀, 16.VII.1988 1♀

20.VIII.1988 1♂

Pheosiopsis cinerea (Butler)

スズキシシャチホコ

(オオウグイスシャチホコ)

7.VI.1988 1♀, 20.VIII.1988 1♂

1.IX.1988 1♀

Drymonia japonica (Wileman)

コトビモンシャチホコ

16.VII.1988 1♀

Semidonta biloba (Oberthür)

カエデシャチホコ

(クヌギシャチホコ)

18.VI.1988 1♀, 9.VII.1988 1♀

Epodonta lineata (Oberthür)

ヤスジシャチホコ

5.IX.1987 lex.

Hiradonta tataonis (Matsumura)

タカオシャチホコ

(オオウスグロシャチホコ)

5.IX.1987 lex., 7.VI.1988 2♂

15.VI.1988 1♂1♀, 18.VI.1988 1♂

2.VII.1988 1♂, 25.VII.1988 1♂

20.VIII.1988 1♂

Hexafrenum leucodera (Staudinger)

ツマジロシャチホコ

9.VIII.1988 1♂, 1.IX.1988 1♀

Hagapteryx admirabilis (Staudinger)

ハガタエグリシャチホコ

9.VII.1988 1♀, 16.VII.1988 1♂

1.IX.1988 1♀

Ptilodon robusta (Matsumura)

エグリシャチホコ

25.VIII.1987 lex.

Fusapteryx ladislai (Oberthür)

シロスジエグリシャチホコ

7.IX.1988 1♂1♀

Lophontosia pryeri (Butler)

ブライヤエグリシャチホコ

26.V.1988 1ex., 20.VIII.1988 1♀

Togepteryx velutina (Oberthür)

タテスジシャチホコ

16.V.1988 1♀, 26.VI.1988 1♀

Spatalia jezoensis Wileman & South

エゾギンモンシャチホコ

(エゾギンスジシャチホコ)

9.VII.1988 1♀

Spatalia doerriesi Graeser

ウスイロギンモンシャチホコ

(オオギンモンシャチホコ)

26.VI.1988 1♂, 9.VII.1988 1♀

16.VII.1988 1♂

Spatalia dives Oberthür

ギンモンシャチホコ

16.VII.1988 1♀, 9.VIII.1988 1♀

Pterostoma sinicum Moore

オオエグリシャチホコ

10.VIII.1987 1ex., 12.VIII.1987 1♂

2.VII.1988 1♂

Rosama cinnamomea Leech

ギンボシシャチホコ

15.VI.1988 1♂, 9.VII.1988 1♂

Gonoclostera timoniorum (Butler)

クワゴモドキシャチホコ

15.VI.1988 1♂, 2.VII.1988 1♂

25.VII.1988 1♂, 7.IX.1988 1♀

Gluphisia rurea (Fabricius)

コフタオビシャチホコ

16.V.1988 1♂, 29.VII.1988 1♂

Clostera anastomosis (Denis & Schiffermüller)

ツマアカシャチホコ

9.VIII.1988 1♂, 1.IX.1988 1♂2♀

17.IX.1988 1♀

トクガ科 (LYMANTRIIDAE)

Calliteara argentata (Butler)

スギドクガ

7.VI.1988 1♂1♀, 16.VII.1988 1♀

Calliteara pseudabietis Butler

リンゴドクガ

5.IX.1987 1♀, 7.VI.1988 1♀

20.VIII.1988 2♂

Calliteara lunulata (Butler)

アカヒゲドクガ

25.VIII.1987 1ex., 26.VI.1988 1♀

9.VIII.1988 1♂

Cifuna locuples Walker

マメドクガ

10.IX.1987 2♂, 7.IX.1988 1♂

Neocifuna eurydice (Butler)

ブドウドクガ

12.VIII.1987 1♀, 10.IX.1987 1♂

29.VII.1988 1♂

Orgyia thyellina Butler

ヒメシロモンドクガ

9.VII.1988 1♀

Laelia gigantea Butler

スゲオオドクガ

20.VIII.1988 1♂

Arctornis kumatai Inoue

スカシドクガ

7.VI.1988 1♂

Leucoma salicis (Linnaeus)

ヤナギドクガ

9.VIII.1988 1♂

氷上郡²⁾で古い記録がある。*Ivela auripes* (Butler)

キアシドクガ

7.VI.1988 1♀

Numenes disparilis Staudinger

コシロオビドクガ

1.IX.1988 1♀, 7.IX.1988 1♀

三日月町⁹⁾で記録されている。♂は昼飛性のため灯火では採集できなかった。

Numenes albofascia (Leech)

シロオビドクガ

25.VIII.1987 2♀, 2.VII.1988 1♀

Lymantria bantaizana Matsumura

バンタイマイマイ

29.VII.1988 1♀, 5.VIII.1988 1♀

大図鑑によると東北地方から中部地方に分布の中心がある。氷ノ山¹⁰⁾で記録がある。

Lymantria mathura Moore

カシワマイマイ

29.VII.1988 1♂1♀

Lymantria monacha (Linnaeus)

ノンネマイマイ

16.VII.1988 1♂, 5.VIII.1988 1♂

Lymantria minomonis Matsumura

ミノモマイマイ

20.VIII.1988 1♂

Pida niphonis (Butler)

クロモンドクガ

25.VIII.1987 1♀

Sphrageidus similis (Fuessly)

モンシロドクガ

9.VII.1988 1♂

Euproctis piperita Oberthür

キドクガ

15.VI.1988 1♀, 18.VI.1988 1♀

20.VIII.1988 1♂, 1.X.1988 1♀

17.IX.1988 1ex.

ヒトリガ科 (ARCTIIDAE)

<コケガ亜科 LITHOSIINAE>

Lithosia quadra (Linnaeus)

ヨツボシホソバ

2.VII.1988 1♀, 7.IX.1988 1♀

Macrobrochis staudingeri (Alphéraky)

クビウスグロホソバ

26.VI.1988 1♀

Bizone hamata Walker

アカスジシロコケガ

25.VII.1988 2♂

Parasiccia altaica (Lederer)

ホシオビコケガ

1.X.1988 1♀

Melanaema venata Butler

オオベニヘリコケガ

26.VI.1988 1♀

Eugoa grisea Butler

クロテンハイロコケガ

17.IX.1987 1♂, 22.IX.1988 1♀

Hiltochrista pulchra Butler

ゴマダラベニコケガ

15.VI.1988 1♂2♀

<ヒトリガ亜科 ARCTIINAE>

Spilarctia seriatopunctata Motschulsky

スジモンヒトリ

11.VIII.1987 1♂, 26.V.1988 1♂

7.VI.1988 1♂, 15.VI.1988 1♂

Spilarctia obliquizona (Miyake)

フトスジモンヒトリ

9.VIII.1988 1♂

Spilosoma bifasciata (Butler)

フタスジヒトリ

2.VII.1988 1♀

Lemyra inaequalis (Butler)

カクモンヒトリ

26.VI.1987 2♀, 7.VI.1988 1♀

15.VI.1988 1♂, 1.IX.1988 1♂

17.IX.1988 1♀

Spilosoma imparilis (Butler)

クワゴマダラヒトリ

1.IX.1988 2♂

Eospilarctia lewisii (Butler)

クロフシロヒトリ

26.V.1988 1♂

Spilosoma punctaria (Gramer)

アカハラゴマダラヒトリ

16.VII.1988 1♂

Spilosoma lubricipeda (Linnaeus)

キハラゴマダラヒトリ

9.VIII.1988 1♀

Chionarctia nivea (Ménétrières)

シロヒトリ

11.VIII.1987 1♀

Rhyparioides nebulosus Butler

ベニシタヒトリ

18.VI.1988 1♀, 29.VII.1988 1♀

以上、イラガ科5種、シャクガ科118種、カギバガ科15種、オオカギバガ科2種、トガリバガ科11種、アゲハモドキガ科1種、フタオガ科2種、カレハガ科5種、オビガ科1種、カイコガ科2種、ヤマユガ科3種、スズメガ科24種、シャチホコガ科54種、ドクガ科19種、ヒトリガ科17種を記録した。前回報告したヤガ科208種、トラガ科3種と合わせて490種を記録したことになる。水銀灯への飛来個体の中から未採集のものを選んで採集したため、多くの見落としや飛来していても採集できていない種も多いと思われるが、それでも500種近い蛾が採集できた。普通種に加えて山地性、北方系の種が多く見られ、蛾相は豊富であるといえる。

メイガ科をはじめとする小蛾類も少しは採集しているが、別の機会に報告する。

また、これ以外にも記録漏れが多くあると思われるので、今後さらに追跡調査を実施したい。

<参考文献>

- 1) 井上寛他(1982)日本産蛾類大図鑑：講談社
- 2) 山本義丸(1958)兵庫県氷上郡昆虫目録、12-50.
- 3) 夏秋優・佐々木昇(1984)能勢地方の蛾(Ⅲ)、妙見山夏の蛾(1)、Crude 25:15-22.

- 4) 山本義丸(1955)氷ノ山の蛾について(第一報)、兵庫生物3(1/2):3-6.
- 5) 遊磨正秀(1980)朝来郡朝来町須留ヶ峰の蛾類について(I)、きべりはむし8(3):1-8.
- 6) 山本義丸(1958)氷ノ山の蛾について(第二報)、兵庫生物3(4):237-239.
- 7) 高島昭(1995)クロウスタビガの採集記録、きべりはむし23(1):31.
- 8) 遠山雅夫・遊磨正秀・松本健嗣(1975)兵庫県の蛾(1)シャチホコガ科、きべりはむし4(1/2):26-37.
- 9) 川副昭人(1987)佐用郡三日月町の蛾覚え書、てんとうむし10:1-10.
- 10) 奥谷禎一(1974)東中国山地自然環境調査報告、中国山脈東端の昆虫相、173-191
(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

赤穂市でクロシオキシタバ採集

(兵庫県産蛾類分布資料・3)

高島 昭

クロシオキシタバは食樹がウバメガシである関係上やや産地が限定され、兵庫県版レッドデータブックではCランク(特殊な環境に生息、個体数が極めて少ない、分布が局限など希少種に相当)に位置づけられている。県南部地域(猪名川町、尼崎市、家島町など)と淡路島で記録されているが、瀬戸内海沿岸である赤穂市ではこれまで記録がないと思われるので報告する。

5.VII.1995 1♂ 赤穂市福浦

昼間、集落西側の棚田へ続く農道を歩行中、道端の灌木より飛び立ったものを採集した。付近にウバメガシは見あたらなかったが、新鮮な個体であった。山を南側に回ると海岸であり、付近で発生したものであろうと思われる。

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

兵庫県版レッドデータブックについて(1)

近藤伸一

本年3月兵庫県から「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック－」が発行された。野生生物の種、植物群落、地形、地質、自然景観について、県レベルで特に保全を図る必要のあるものをリストアップし、その貴重性について評価を行ったもので、内容は動物368種(うち昆虫類は16目182種)、植物605種、植物群落・地形・地質・自然景観662箇所が選定されており、選定委員会等には高橋寿郎氏をはじめ本会会員も数名が参加している。

兵庫県版レッドデータブックをどのような形で活用していくのかは、今後の課題であるが、兵庫県内の生物相の現況を知るための大変貴重な資料であり、また一般の書店では入手し難いため、要約版という形で昆虫類の中から今回はトンボ、カメムシ、コウチュウ、チョウの4目148種を紹介する。なお参考として環境庁からすでに発行されている「日本版レッドデータブック」(1991)の掲載種についても併せて記載した。

I 種別の評価結果の記載方法

種ごとに和名、学名、ランク、地域的貴重性、選定理由、生息環境、分布範囲、県内分布、特記事項が記載されているが、今回の紹介の方法は貴重性評価の区分ごとに和名、選定理由、県内分布を次の記載例で紹介する。

1 貴重性評価の区分

(1) 今は見られない

かつては生息していたと考えられるが現在は見られなくなり生息の可能性がないと考えられる種。

(2) Aランク

日本版レッドデータブックの絶滅危惧種[Endangered(*E)]に相当。兵庫県内において絶滅の危機に瀕している種等、緊急の保全対策、厳重な保全対策の必要な種。

(3) Bランク

日本版レッドデータブックの危急種[Vulnerable(*V)]に相当。兵庫県内において絶滅の危機が増大している種等、極力生息環境等の保全が必要な種。

(4) Cランク

日本版レッドデータブックの希少種[Rare(*R)]に相当。特殊な環境に生息する種、個体数の極めて少ない種、分布の局限している種等兵庫県内において存続基盤が脆弱な種。

(5) 要注目種

最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種、特殊な分布をする種等の貴重種に準ずる種。

(6) 地域限定貴重種

県下全域で見ると貴重とはいえないが、特定地域ではA、B、C、要注目のいずれかのランクに該当するもの。

2 選定理由

(1) 種の選定した理由を次の6パターン[a b c d e f]に分類

- ・人為により大きな影響を受けているもので
 - a-個体数が近年激減しているもの
 - b-生息環境が激変、失われているもの
- ・生息基盤が脆弱で特殊な生息環境を必要とするもので、
 - c-わずかの面積しかない環境又は開発による影響を受けやすい環境にあるもの
- ・学術性の観点から、
 - d-分布が局限されているもの、
 - e-南限、北限など生息地が分布の限界になっているもの、
 - f-個体数が極めて少ないもの

3 県内分布

(1) 県内分布の区分

県内を次の6地域に分けた

- ①神戸・阪神：(阪)で表示(神戸、尼崎、西宮、芦屋、伊丹、宝塚、川西、三田市及び猪名川町)
- ②東播磨：(東)で表示(明石、加古川、西脇、三木、高砂、小野、加西市及び美嚢郡、加東郡、多可郡、加古郡)
- ③西播磨：(西)で表示(姫路、相生、竜野、赤穂市及び飾磨郡、神崎郡、揖保郡、赤穂郡、佐用郡、宍粟郡)
- ④但馬：(但)で表示(豊岡市及び城崎郡、出石郡、美方郡、養父郡、朝来郡)
- ⑤丹波：(丹)で表示(氷上郡、多紀郡)
- ⑥淡路：(淡)で表示(洲本市及び津名郡、三原郡)

(2) 表示方法

- ①上記地域をそれぞれ阪東西但丹淡で表した。
- ②(阪東西但丹淡)で表示したものは1985年以降に確認できた地域。
- ③(阪東西但丹淡)で表示したものは1984年以前にしか確認されていない地域。

4 日本版レッドデータブックの掲載種 の表示

日本版レッドデータブックに掲載されている種については、和名の前に次の記号で表示する。

- *E：絶滅危惧種(Endangered)
*V：危急種(Vulnerable)
*R：希少種(Rare)

5 表示例

Aランク	選定理由	県内分布
*E ベッコウトンボ	[ab d]	(阪東西)

- ・兵庫県版レッドデータブックAランクの種で、兵庫県内において絶滅の危機に瀕している種等、緊急の保全対策、厳重な保全対策の必要な種。
- ・*E 日本版レッドデータブックの絶滅危惧種でもある。
- ・選定理由は、人為により大きな影響を受けてa-個体数が近年激減し、b-生息環境が激変、失われ、d-分布が局限されており学術性の観点からみても貴重な種。

・県内分布は(阪)神戸・阪神地区、(東)東播磨地区、(西)西播磨地区であるが、西播磨地区では1984年以前にしか確認されていない。

II 種別の選定結果

1 トンボ目

Aランク	選定理由	県内分布
*E ヒメイトトンボ	[bcd]	(但)
アオハダトンボ	[abcd]	(西但丹)
ヒラサナエ	[bcd]	(西但)
(モクサナエの北陸～中国地方亜種)		
キロヤマトンボ	[abcd f]	(阪東 但丹)
*E ベッコウトンボ	[ab d]	(阪東西)
マダラナニツトンボ	[ab d]	(阪東西)

Bランク

コハネアイトトンボ	[ab d]	(阪東西但 淡)
ムカシヤンマ	[abc]	(阪東西但丹)
ミヤマサナエ	[b d f]	(阪東西但丹)
ホノサナエ	[ab d]	(阪東西但丹)
ガラヤンマ	[abcd f]	(阪東西但丹)
オオキトンボ	[ab d]	(阪東西)

Cランク

ベニイトトンボ	[b d]	(阪東)
クニハイトトンボ	[b d]	(阪東西 丹)
キロサナエ	[ab d]	(阪東西但丹淡)
アサナエ	[ab d]	(阪東西但丹)
ヒメサナエ	[a d]	(西但)
コサナエ	[d f]	(但 淡)
ルリハヤンマ	[d f]	(阪 西但)
ネアカヨシヤンマ	[d f]	(阪東西但 淡)
ハネヒロエツトンボ	[b d]	(阪東西 丹淡)
ハチョウトンボ	[ab]	(阪東西但)

地域限定貴重種 淡路 Cランク

オシロサナエ	[ab]	(阪東西但丹淡)
オオエツトンボ	[b]	(阪東西但 淡)
(エツトンボの大型の亜種)		

要注目種

ムシクイトトンボ	[d]	(阪 西 丹淡)
ムカシトンボ	[]	(西但丹)
アヤヤンマ	[b d]	(阪東西但 淡)

2 カメムシ目

Aランク	選定理由	県内分布
アエゾ'ゼ'ミ	[cd]	(西但)
ヒタイコウチ	[abcdef]	(阪東)
トゲ'ナベ'ア'タムシ	[cd]	(阪)

Bランク	選定理由	県内分布
ヒナハ'ゼ'ミ	[cde]	(阪東西但 淡)
*V タガ'ノ 淡路以外	[abcd f]	(阪東西但 野淡)

Cランク	選定理由	県内分布
エゾ'ハル'ゼ'ミ	[d]	(西但)
コエゾ'ゼ'ミ	[d]	(西但)
*R ミズ'ムシ	[abcd f]	(阪東西 西)
*R オオミズ'ムシ	[abcd f]	(阪 淡)
*R ナガ'ミズ'ムシ	[abcd f]	(阪東西)
コハ'ンムシ	[abc f]	(阪東西)
*R ベ'ニツチカメムシ	[cd f]	(西)
エゾ'ツノカメムシ	[cd f]	(阪 西但)
ツノアツノカメムシ	[cd f]	(西但)

地域限定貴重種 淡路 Aランク

*V タガ'ノ	[abcd f]	(阪東西但 丹淡)
---------	------------	-------------

地域限定貴重種 淡路 Cランク

チツ'ビ'ミ	[b]	(阪東西但 丹淡)
オオ'ア'メン'ボ'	[bcd]	(阪 西但 淡)

3 コウチュウ目

今は見られない

*V ヨト'シロヘリハシヨウ	[abcd f]	(阪 淡)
*E キロネクイハムシ	[ab d]	(阪)

Aランク	選定理由	県内分布
カワ'ラン'ミョウ	[abcd]	(阪)
*R ル'イ'ハシ'ミョウ	[bcd]	(嶺)
オオ'ヒョウ'タン'ゴ'ミムシ	[abcd f]	(阪東西 淡)
ヤ'キ' マル'ケ'ン'ゴ'ロウ	[d]	(東)
ゲ'ン'ゴ'ロウ	[ab f]	(阪東西但)
マル'コ'ガ'タ'リ'ゲ'ン'ゴ'ロウ	[ab d f]	(阪 淡)
*R コ'ガ'タ'リ'ゲ'ン'ゴ'ロウ	[ab d f]	(阪 但 丹)
チュウ'コ'オ'ネ'クイ'ハムシ	[bcd]	(西但)
(オオ'ネ'クイ'ハムシ の中国地方亜種)		

Bランク	選定理由	県内分布
チュウ'コ'ク'ロ'ナ'ガ'オ'サ'ムシ	[b def]	(西)
(キュウ'シュウ'ク'ロ'ナ'ガ'オ'サ'ムシ の中国地方亜種)		

Bランク	選定理由	県内分布
オ'ク'ワ'カ'タ	[abcd f]	(阪 但 丹)
ア'カ'マ'タ'ラ'セン'チ'コ'ガ'ネ	[ab d f]	(東 西)
タ'イ'コ'ク'コ'ガ'ネ	[abcd f]	(東 西但 丹)
*R オ'オ'チ'イ'ロ'ハ'ナ'ム'グ'リ	[cd f]	(阪 西但)
シ'ュウ'シ'チ'ホ'シ'ハ'ナ'ム'グ'リ	[cde]	(西 丹)
*R カ'ワ'ラ'ネ'クイ'ハムシ	[cd]	(阪東西但)

Cランク	選定理由	県内分布
ホ'ソ'ハ'ン'ミョウ	[a d]	(但)
ア'キ'オ'サ'ムシ	[cdef]	(阪 西但 丹)
(ヒ'ノ'オ'サ'ムシ の中国地方亜種)		
ア'ワ'シ'ヒ'ノ'オ'サ'ムシ	[b de]	(淡)
(ヒ'ノ'オ'サ'ムシ の淡路島亜種)		
マ'タ'ラ'ク'ワ'カ'タ	[bcd f]	(西但)
マ'メ'ク'ワ'カ'タ	[cdef]	(西 淡)
ヒ'ノ'オ'ク'ワ'カ'タ	[abcd f]	(西但)
オ'ニ'ク'ワ'カ'タ	[abcd f]	(西但)
マ'ク'ソ'ク'ワ'カ'タ	[cd f]	(但)
キョウ'ト'ア'オ'ハ'ナ'ム'グ'リ	[a d f]	(阪東 但 丹 淡)
ホ'リ'ヒ'ラ'タ'ムシ	[cd f]	(西但)
シ'ュウ'ク'ホ'シ'デ'ントウ	[b d f]	(阪)
オ'オ'デ'ントウ	[a d f]	(阪東)
ヒ'ラ'ス'ゲ'ン'セイ	[cd f]	(阪東 淡)
ス'ネ'ク'ブ'カ'ヒ'ロ'コ'ハ'ネ'カ'ミ'キ'リ	[d f]	(西但)
ト'ウ'キョウ'ト'ラ'カ'ミ'キ'リ	[d f]	(西但)
マ'ヤ'ザ'ン'コ'フ'ヤ'ハ'ス'カ'ミ'キ'リ	[d f]	(阪 但)
*R ヒ'バ'ヒ'ロ'ウ'ト'カ'ミ'キ'リ	[d f]	(但)
キン'イ'ロ'ネ'クイ'ハムシ	[a c]	(阪東 但)
キ'ヌ'ツ'ヤ'ミ'ス'ク'サ'ハムシ	[d]	(西但)

地域限定貴重種 淡路 Cランク

ク'ロ'カ'タ'ヒ'ロ'オ'サ'ムシ	[b d f]	(阪 西 淡)
チ'ビ'ク'ワ'カ'タ	[ab d]	(阪東西但 丹 淡)
ヒ'ノ'オ'タル	[a cd f]	(西但 淡)
ゲ'ン'シ'オ'タル	[ab]	(阪東西但 丹 淡)
ベ'ー'ブ'ヒ'ラ'タ'カ'ミ'キ'リ	[a d f]	(阪 但 淡)
ホ'シ'ベ'ニ'カ'ミ'キ'リ	[d f]	(阪 西但 淡)

要注目種

*R ム'カ'シ'ゲ'ン'ゴ'ロウ	[bcdef]	(西)
*R メ'ク'ラ'ゲ'ン'ゴ'ロウ	[bcdef]	(西)
キン'キ'コ'ル'ク'ワ'カ'タ	[cd f]	(西但)
(コ'ル'ク'ワ'カ'タ の中部・近畿地方亜種)		
ホ'リ'ク'ワ'カ'タ	[cd f]	(西但)

要注目種	選定理由	県内分布
*R アカネシシトカミキリ	[cd f]	(西 但)
タカサコシロカミキリ	[a cd f]	(阪東西但丹淡)
*R アサカミキリ	[abcd f]	(西 但)
ゲンシホタル渡路以外	[ab]	(阪東西但丹淡)
キハリハムシ	[de]	(阪東西但丹)

4 チョウ目

今は見られない

*V ヒョウモンモトキ	[a cdef]	(阪 西 但 丹)
-------------	------------	-------------

Aランク

*E オオウラキ'ンヒョウモン	[ab]	(阪東西但丹淡)
ウスイロヒョウモンモトキ	[a de]	(阪東西但)

Bランク

ホシチャハ'ネセセリ	[ab d]	(東 西 但 丹)
*V キ'フチョウ	[ab d]	(阪東西但丹)
オナカ'シシ'ミ	[d]	(西 但)
ヒサマツミト'リシシ'ミ	[b d f]	(西 但)
ヒロオヒ'ミト'リシシ'ミ	[abcd f]	(阪 西 但 淡)
ハヤシミト'リシシ'ミ	[ab d]	(西 但)
ムラサキツバ'メ	[b d]	(阪東西 丹)
*R キマダ'ラルツバ'メ	[cd f]	(阪東西但)
カラスシシ'ミ	[d]	(西 但)
*R クロツハ'メシシ'ミ	[abcd]	(阪東西)
*R オオムササキ	[ab]	(阪東西但丹)
キマダ'ラモト'キ	[d]	(阪 西)
クロヒカゲ'モト'キ	[b d f]	(阪 西 丹)
オオヒカゲ'	[cd f]	(阪 西 但)
フジ'キオヒ'	[d f]	(西)
クロウスタヒ'カ'	[d f]	(西)
カハ'フキシタハ'	[d f]	(阪東西 丹)

Cランク

キハ'ネセセリ	[f]	(東 但)
キン'チモンシ'セセリ	[ab]	(阪東西但丹)
スジ'ク'ロチャハ'ネセセリ	[b d]	(阪 西 但 丹)
ヘリク'ロチャハ'ネセセリ	[]	(阪東西但丹)
シルビ'アジシ'ミ	[a]	(阪東西但丹淡)
ミスジ'チョウ	[d]	(阪東西但丹)
*R ヒメヒカゲ'	[abcd]	(阪東西但丹)
スキ'タニモト'カ'	[d f]	(淡)
エゾ'ヨツメ	[a d f]	(阪 西 但 丹)
オオシモフリス'メ	[a d f]	(阪 西 丹 淡)

Cランク	選定理由	県内分布
ナチキシタ'クカ'	[d f]	(阪 西 丹 淡)
ヤクシマト'クカ'	[d f]	(西 丹)
ゴ'マフオホソハ'	[a d f]	(阪 西 淡)
モンシロモト'キ	[d f]	(阪 西 淡)
ハマオモトヨトウ	[cdef]	(淡)
ヨシノクルマコヤカ'	[d f]	(淡)
コシロシタハ'	[b d f]	(阪 淡)
ヨシノキシタハ'	[d f]	(西 淡)
ムラサキシタハ'	[d f]	(西)
アミメキシタハ'	[d f]	(阪 西 淡)
クロシオキシタハ'	[ab d]	(阪 西 淡)
アサメキシタハ'	[d f]	(阪 西)
クロシ'ユミモンクチハ'	[d]	(淡)
マイコトラカ'	[d f]	(阪 西 淡)

地域限定貴重種 淡路 Cランク

オオミト'リシシ'ミ	[a]	(阪東西但 淡)
アカシシ'ミ	[ab]	(阪東西但丹淡)
ウラナミアカシシ'ミ	[ab]	(阪東西但 淡)
*R クロシシ'ミ	[a cd]	(阪東西但 淡)

要注目種

ミヤマチャハ'ネセセリ	[f]	(阪東西但)
ウスハ'シロチョウ	[]	(阪 西 但)
スジ'ホ'ソヤマキチョウ	[d]	(東 西 但)
エゾ'スジ'ク'ロシロチョウ	[c]	(阪東西但丹淡)
スキ'タニリシシ'ミ	[c]	(西 但)
ウラキシシ'ミ	[f]	(阪東西但)
ウラナミシ'ヤノメ	[b d]	(阪東西但 淡)

III 日本版に記載された種で兵庫県版で選定された種について

日本版レッドデータブックには日本産既知種数 28,720種の0.7%にあたる11目207種が記載されているが、この中で兵庫県版に選定されているのは、次の27種である。

① 絶滅危惧種(Endangered *E)23種の中で、兵庫県版には4種が選定されている。

- ・今は見られない：キロネケイハムシ
- ・Aランク：ヒメイトトンボ、ヘッソトンボ、オオウラキ'ンヒョウモン

② 危急種(Vulnerable *V)15種の中で兵庫県版に

は次の4種が選定されている。

- ・今は見られない：ヨトシロヘリハシヨウ、ヒョウモンモドキ
- ・Aランク：タガメ(淡路)
- ・Bランク：タガメ(淡路以外)、キマダラカミキリ

③ 希少種(Rare *R)166種の中で兵庫県版には次の19種が選定されている。

- ・Aランク：ルイズハシヨウ、コガタノゲノコウ
- ・Bランク：オオチャイロハナムケリ、カワラネイハムシ、キマダラルツハメ、クロツハメシシミオムラサキ
- ・Cランク：ミスミシ、オオミスミシ、ナガミスミシ、ベニツチカミキリ、ヒメロウトカミキリ、カワムリトビケラ(トビケラ目)、クロシシミ(淡路)、ヒメカゲ
- ・要注目種：ムカシゲノコウ、ムラゲノコウ、アカネキスシトラカミキリ、アサカミキリ

IV 兵庫県の「今は見られない種」の状況

①キロ初ハムシ：平野部のスゲの生える池沼を生息地とする。戦後すぐに宝塚市で比較的まとまって採集されたほかは極めて記録が少なく、過去30年以上再発見されていない。

②ヨトシロヘリハシヨウ：瀬戸内海、九州のアシ群落と隣接する砂泥地の河口域を生息地とする。各種開発により生息環境が失われ、生息が確認されない。

③ヒョウモンモドキ：明るい湿地性の草原に生息する代表的な草原性のチョウで、1976年に波賀町東山高原で2♂が採集されて以降は確実な記録はない。

<参考文献>

- (1) 兵庫県保健環境部環境局環境管理課(1995)
兵庫県の貴重な自然—兵庫県版レッドデータブック— 1-129.
- (2) 環境庁自然保護局野生生物課(1991)
日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—無脊椎動物編 7-116.

(KONDOH SHINICHI 神戸市西区岩岡町岩岡619-57)

コオイムシ、オオコオイムシの採集記録

近藤伸一

コオイムシ、オオコオイムシを本年各地で採集した。近年数を減らしつつある種で、これまで採集記録の発表があまりないので報告する。コオイムシは同一時期に色々の令数が見られた。

(1) コオイムシ

神戸市西区神出町古神 26.VIII.1995

(亜終令、終令、成虫)多数

神戸市西区寺谷 15.IX.1995

(若令、中令、亜終令、終令、成虫)多数

加古川市野口町 26.VIII.1995 成虫 1ex.

(2) オオコオイムシ

城崎郡日高町朝倉 30.IX.1995 終令、成虫多数

城崎郡日高町頃垣 30.IX.1995 成虫多数

(KONDOH SHINICHI 神戸市西区岩岡町岩岡619-57)

モンクロベニカミキリの採集記録

近藤伸一

県下では比較的採集記録の少ないモンクロベニカミキリを赤穂市で採集しているので報告する。

赤穂市福浦 14.V.1994 1♀ 近藤伸一

当地は1992年2月に山火事が発生し、直後の4月に来た時は正に死の山で、アカマツ林は黒こげで地面は灰に覆われ、所々にサルトリイバラとヤマハギが新芽を伸ばしていた程度であったが、2年が経過した1994年に訪れたところ、立ち枯れの林にコナラ、ヤマハギなどが成長を始め、急速に緑が蘇りつつあった。尾根部ではハルゼミが盛んに鳴き、ベニカミキリ、エグリトラカミキリが多数見られ、モンクロベニカミキリもこの尾根部で採集した。

(KONDOH SHINICHI 神戸市西区岩岡町岩岡619-57)

ルイスクビナガハムシの分布

(兵庫県甲虫相資料・309)

高橋寿郎

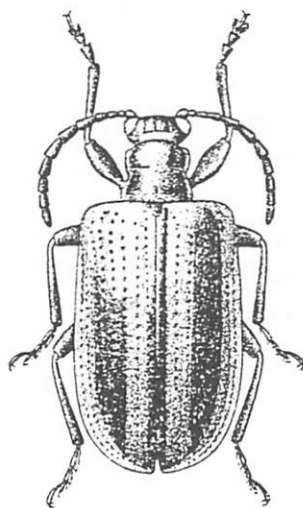
1937(昭和12)年当時学生であった筆者は、その前年東京農大の神谷一男・安立綱光両先生によって設立された甲虫同好会に入会させて頂いた。そしてその会の機関誌"日本の甲虫"創刊号が1937年に送られて来た。その第1頁に美しいカラー図版(関口俊雄画伯の健筆による。関口画伯は1995年2月84才で逝去された由)があり神谷一男先生による"日本産甲虫類図譜"なる解説論文がついていた。このカラー図版にはハムシが3種描かれていて、どれも美しいもので筆者にしても初めて目にするハムシであり、その美しさに是非自分の手でこれらハムシを採集したいのだと決心したものである。残念ながら戦前にはとうとう採集することが出来なかったのであるが、終戦、シベリアから帰国後再び昆虫採集にノメリ込んでゆき、お陰さまで其処に図説されたハムシは3種とも採集出来た。図説されたハムシ、キオビクビボソハムシ、ルイスクビナガハムシ、セボシハムシ(ワモンナガハムシ)のうちキオビクビボソハムシが一番多く見られるようで次いでワモンナガハムシとなり、ルイスクビナガハムシが兵庫県下では一番採集が難しい種のように思われる。このハムシは本州と四国にだけ分布が知られている種で、全国的に見てもそう普通に見られるハムシのようでもなさそうである。そこで筆者の手許にある文献で本種の日本での分布状況を調べてみた。同時に兵庫県下での分布状況についてもまとめて見ることにした。何分にも貧弱な筆者所有文献からの収録であるから多くの各地での産出記録が抜けていることを危惧している。御教示して頂ければ幸いである。

また本文を草するに当たってはハムシに関しての論文別刷を多数御恵与下さり、常々御指導を頂いている中條道夫博士、木元新作博士、大野正男教授(ABC順)にあつく御礼を申しあげさせて頂く。

この種は Jacoby(以下敬称略) により G.Lewis

の第2回目の日本訪問採集旅行において得られたる"Nikko. A single specimen"によって図をつけて *Crioceris lewisi* Jacoby として記載された種である(1885)。

日本人によってこの種が一番初めて記録されたのは、大野正男によると矢野暁泉が伊吹山からイブキミスジハムシとして記録されたものであると(1906)。1915年には鈴木元次郎の記録があるようだがこの文献を見ていないので何処産のものかわからない。



Lilioceris (Brodyceris) lewisii (Jacoby)

ルイスクビナガハムシ

S.Kimoto, Jour. Fac. Agr. Kyushu Univ. 13(1):127, 1964
より

土井久作は松村松年が中禅寺にて得たという記録をしている(1926)。

1930年には横山桐郎は黒条のない個体でカラー図説をされた。1933年の中條道夫博士の記録では、

Japan proper (Honshu) と分布はあり産地の記録は今迄のものだけである。

名和梅吉も1935年伊吹山から1頭得たと記録している。神谷一男は始めに記したように1937年大変美しいカラー図説をされるとともに、産地として奥日光尾瀬沼、大和大台ヶ原山、伯耆大山を新しく記録された。土井久作は愛知県犬山木曽川沿岸にてキボシの葉を食し且産卵する、個体数も相当いると記録(1938)。

1938年には福井県吉田・今立産のカラー図説も現れた。岩本新一は兵庫県氷ノ山、広島県の三段峠を記録した(1940)。戦前での本種についての記録は大体以上のような状況であった。

戦後一番初めての記録になるかと思われるが四国剣山の見の越(大剣社)において、四国未記録種と考えられるとして伊賀正汎は記録(1947)、この標本は後藤光男による原色図説がある(1955)。四国からは宮武睦夫・小林 尚が皿ヶ嶺、面河溪を1950年に記録している。

中條道夫は本種が小楯板沿いの短い点刻列が無い特徴から本種をタイプに亜属 *Bradyceris* を創設された(1955)。

四国の記録はその後石原 保他による"石鎚山と面河溪の昆虫相"の中に見られ(1953, Omogo Val. Mt. Omogo, Tsuchigoya)、矢野俊郎によってまとめられている(1964)。即ち、徳島県: 剣山、見の越。愛媛県: 皿ヶ嶺、面河溪、土小屋。四国からは坂口滑一によって高松市紫雲山の記録もある(1989)。

中條道夫は伯耆大山から記録をした(1954)が、大山は戦前既に記録があり、他にも佐藤清明も記録している(1958)し、木元新作も記録している(1964)。

中條道夫は1956年佐渡島から記録された(1956)。新潟県での記録はその後大野正男(1968)、馬場金太郎(1972)、木元新作(1964)のものがある。

山形県では、飯豊連峰が白畑孝太郎・黒沢良彦によってされている。

東北地方では保谷忠良による宮城県蔵王町山田

沢がある(1992)。

関東地方では原産地日光は別として栃木県安蘇郡葛生町仙波(足利山地)、群馬県武尊山の記録を木附嘉男はしている(1975)。

石川県からも記録があり(1992)、神奈川県では小田原・箱根が平野幸彦によってされている(1981)。山梨県では南アルプス前衛西居峠(1955)、金峯山麓木賊峠である(1971)。

長野県では木曽駒ヶ岳(1964)、軽井沢(1964)がある。

愛知県、岐阜県、福井県と記録がわりとある。特に福井県は多いように思われる。次に記録地を記してみる。

福井県 福井市: 一乗谷、上志比村、勝山市: 赤兎山・三頭山、大野市: 小池・下打波・荒島岳、和泉村: 早稲谷、池田町: 檜俣、今立町: 権現山、武生市: 日野山、今庄町: 夜叉ヶ池、小浜市: 鬼ヶ谷(以上佐々治寛之、斉藤昌弘、1985)、(鬼ヶ谷、井崎市左門、1957)。

愛知県 犬山木曽川沿岸(1938)、東三河: 設楽町裏谷、鳳来町阿寺、富山村日本ヶ塚山、尾張: 犬山市木曽川堤、東三河: 豊根村茶臼山、稲武町西ノ木峠(以上、山崎隆弘・穂積俊文、1990)。

岐阜県 能郷白山から県北部に至る山岳地帯、飛騨東、高山市日影平、揖斐・本巣、能郷白山(磯野昌弘、1982)、藤橋村徳山地区冠山峠(長谷川道明ほか、1989)。

近畿地方では、滋賀県で中根猛彦の比良山(1955)、それに加えて木元新作の上北山村和佐又山~笹の窟(1971)、大野正男の伊吹山、湖東、湖西、比良山があり(1979)、特に伊吹山には多いとの記録もある(1967)。三重県では藤原岳が後藤光男によってある(1961)。奈良県は大台ヶ原が大野正男によって記録され(1970)、この記録は山下善平などの調査報告にも入っている(1972)。同じ山系になるのか Mt. Obakodake の記録を山本雅則がしている(1979)。京都府の記録が見られなかった。

鈴木元次郎の記録が京都のものであるのかどうか見ていないのでわからない(1915)。

和歌山県からは的場 頼のものが(1994)、大阪府からは箕面からの記録がある(1965、1967)が、ともに命名者は間違っているし始めのものには和名もなく、両方ともデータがついていない。後藤光男の担当であるから間違いないと思うが今一つすっきりしない。以上、近畿地方では山地帯に行けばお目にかかれる状況ではないかと考えられる。

最後に中国地方、即ち中国山脈をめぐっての地域であるが、岡山県と島根県の記録が筆者の調べた範囲では見られなかった。伯耆大山の記録は古くからあり(1937、1954、1958、1964)、産地としてよく知られた山である。広島県も古い記録(1940)もあれば最近でも中村慎吾他により産地がまとめられている(1994)。山口県は唯一、三好和雄、田中馨の記録(1988)しか見られなかったが、“7~8月、山間部及び山地”とあるからわりと多く産するのではないだろうか。これらから中国山脈をめぐっての地域には、恐らくこの種は分布している種になると考えてよいであろう。

さて、兵庫県であるが、ここも中国山脈の東端にあたる氷ノ山では、古い記録もありまた現在でも産しているのではと考えられる。その他の地は次に記すごとくわりと産地が知られていない。調査が足りないからかと思われる。

1972年当時兵庫農大生であった辻 啓介氏が氷ノ山に採集に行かれ、頂上で下から風で吹き上げられてきたのを採集したと8exs.を拙宅へ持参させて下さった(うち1ex.は頂いたがこの標本は現在人と自然の博物館で保管されている)。氷ノ山にはわりといるハムシのようである(ごく最近秋山美文・日暮卓志も氷ノ山-鳥取県側?から本種を採集している。1995)。

筆者は大河内町砥ノ峯で採集したことがある。次に兵庫県での記録を記しておく。

神崎郡大河内町砥ノ峯(1ex., 2.VII.1977).
 宍粟郡音水(1ex., 22.V.1965, K.Tsuiji leg.).
 城崎郡阿瀬溪谷(高橋, 1978)
 養父郡氷ノ山(岩本, 1936., 辻, 1972, 高橋,

1978., 秋山, 日暮, 1935)(8exs., 11.VII.1972, K.Tsuiji leg.).

美方郡扇ノ山(辻, 1963., 辻, 岸田, 1972., 磯野, 1985)

いずれにしても本州、四国に広く分布している美しいハムシであるが、意外と出会うことが少ないハムシのようでもある。食草はマイヅルソウ、ナルコユリ、ギボウシ類が知られており、木元新作、滝沢春雄によれば(1994)本州の中部山地では成虫は10月まで野外に見られると同時に幼虫についても図説されている(pl.92, Fig.4, pl.128, Fig.3,4)。(木元・滝沢の図説での本種の分布は本州、九州と間違っている、p.107。但し、p.273では Honshu, Shikoku になっている。)

<参考文献>

- 秋山美文・日暮卓志(1995) 山陰東部のハムシの記録。すかしば(41/42):15-18.
 馬場金太郎(1972) 新潟県北部、胎内川流域の鞘翅目。飯豊山塊、胎内溪谷の生物:195-240.
 Chūjō, M.(1933) Studies on the Chrysomelidae in Japanes Empire(III). Sylvia 4(1):19-56.
 Chūjō, M.(1951) A Taxonomic Study of the Chrysomelidae (Insecta-Coleoptera) from Formosa Part. I. Subfamily Criocerinae
 Tech. Bull. Kagawa Agr. Coll. II (2):71-120.
 中條道夫(1954) 伯耆大山の金花虫類。新昆虫7(13):24-26.
 Chūjō, M.(1956) Chrysomelid-Beetles of Niigata Prefecture, Japan, chiefly collected by Dr. Kintaro Baba. 長岡市立科学博物館々報.
 Clavareau, H.(1912) W. Junk Coleop. Cat. Pars. 51. p.47.
 土井久作(1926) 日本産アカハムシ属 *Crioceris* に就いて。昆虫世界 30(346):172-187.
 土井久作(1938) 名古屋附近に産する二・三の注目すべき昆虫。昆虫研究 2(1):12-14.
 福井県博物学会(1938) 原色福井県昆虫図譜。p.14, f.39.

- 後藤光男(1955) 原色日本昆虫図鑑・甲虫編, pl. 21, f. 440, p. 69(保育社・大阪)
- 後藤光男(1961) 藤原岳の鞘翅目. 藤原岳の昆虫: 40-69.
- 後藤光男(1965) 箕面の鞘翅目(甲虫類). 箕面山の動物相調査ハムシ科 p. 204-209. (大阪府農林部)
- 後藤光男(1967) 箕面の鞘翅目(甲虫類). 箕面山の動物相調査(改訂版)ハムシ科 p. 165-170. (大阪府農林部)
- 長谷川道明ほか(1989) 旧徳山村地域の甲虫類. 旧徳山村(岐阜県)地域動植物調査報告書: 55-107.
- 平野幸彦(1981) 神奈川県甲虫. 神奈川県昆虫調査報告書: 233-372(神奈川県教育委員会)
- 保谷忠良・金澤理・佐々木元幸(1992) 宮城県のハムシ. 宮城県昆虫分布資料(宮城県仙台第二高等学校生物部刊)
- 伊賀正汎(1947) 四国剣山に於ける吉丁虫相に就いて. 近畿甲虫同好会々報2(2): 9-18.
- 稲泉三丸(1970) 栃木県から記録されたハムシ. インセクト21(1): 12-24.
- 井上義郷(1955) ルイスクビナガハムシの新産地. 新昆虫8(12): 38.
- 石原 保・宮武睦夫・久松定成・枝重忠夫・佐々木幸太(1953) 石鎚山と面河溪の昆虫相. 四国昆虫学会々報 Vol. 3: 5-137, 8pls.
- 磯野昌弘(1982) 岐阜県のハムシ類. 岐阜県の昆虫: 171-176, 491-505(岐阜県環境部環境保全係).
- 岩本新一(1940) レウスハムシ *Crioceris lewisi* の新産地. 昆虫研究4(1/2): 22.
- 井崎市左エ門(1957) 福井県の甲虫(2). 福井県博物同好会々報(4): 25-32.
- Jacoby, W(1885) Description of the Phytophagous Coleoptera of Japan, obtained by Mr. George Lewis during his second journey, from February 1880 to September, 1881. Part. I. Proc. Zool. Soc. London, p. 189-211, pl. XI.
- 神谷一男(1937) 日本産甲虫類図譜. 日本の甲虫1(1): 1-4, pl. 1.
- Kimoto, S(1964) The Chrysomelidae of Japan and the Ryukyu Islands II. Jour. Fac. Agr. Kyushu Univ. 13(1): 119-139.
- Kimoto, S & Hiura, I. A List of the Chrysomelid Specimens preserved in the Osaka Museum of Natural History I. (Insecta: Coleoptera) Bull. Osaka Mus. Nat. Hist. (7): 5-18.
- 木元新作・日浦勇(1971) 大阪市立自然科学博物館に所蔵されるハムシ類標本(第三報). Bull. Osaka Mus. Nat. Hist. (25): 1-26.
- 木村嘉理(1975) 関東地方におけるルイスクビナガハムシの採集例. BLYTRA 2(2): 26.
- 小阪敏和・村上貴望・角島幸二(1977) 広島県産甲虫ノート(8). 広島虫の会々報(16): 187-191.
- 的場 績(1994) 和歌山県産甲虫類既報の整理. KINOKUNI (46): 1-129.
- 宮武睦夫・久松定成(1960) 石鎚山系の甲虫類・石鎚山系の自然と人文: 109-116(愛媛新聞社・今治市).
- 宮武睦夫・小林尚(1950) 石鎚山系の甲虫類(第一報). 宝塚昆虫館報(73): 1-20.
- 三好和雄・田中馨(1988) 山口県の鞘翅目. 山口県の昆虫: 126-187(山口県立山口博物館).
- 中根猛彦(1955) 今年の成果・比良山. Nature Study 2(12): 8.
- 中村慎吾(1977) 広島県比和町とその周辺の昆虫類. 比和の自然: 255-294.
- 中村慎吾・秋山美文・木元新作(1994) 広島県産ハムシ科目録. 比和科学博物館研究報告(32): 69-101.
- 名和梅吉(1935) 日本産葉虫類に就いて(承前). 昆虫世界39(449): 2-7.
- 大野正男(1966) 広島県のハムシ相. すずむし16(1): 1-11.

- 大野正男(1967) 日本産ハムシ科研究の手引き(3).
昆虫と自然2(5):25-28.
- 大野正男(1968) 佐渡のハムシ相. 長岡市立科学
博物館研究報告(5):21-38.
- 大野正男(1969) 栃木県におけるハムシ研究の手
引き. インセクト20(2):1-8.
- 大野正男(1970) 大台ヶ原山のハムシ相. 関西自
然科学(22):21-29.
- 大野正男(1979) 滋賀県のハムシ相. 滋賀県の自
然(総合学術調査研究報告)p.757-777.
- 大野正男・鈴木富士子(1979) 山梨県金峯山麓の
ハムシ相. 千葉敬愛短大生物研究会々報(3):59
-79.
- 坂口清一(1989) 香川県産昆虫標本目録. 兼香川
県産昆虫目録. 85. 233p.
- 佐々治寛之・斉藤昌弘(1985) 福井県の甲虫相.
福井県甲虫目録p.207-221. 福井県自然環境保
全調査研究会昆虫部会編.
- 佐藤清明(1958) 伯耆大山の昆虫相(Ⅲ). すずむ
し 8(4):1-8. (ref. p.4-6)
- Schönfeldt, H.V. (1887) Catalog der Coleopte-
ren von Japan mit Angabe der bezuglichen
Beschreibungen und der sicher bekannten
Fundorte.
- 鈴木元次郎(1915) 花園昆虫研究所標本目録.
(花園昆虫研究所・京都)
- 白畑孝太郎・黒沢良彦(1970) 飯豊連峰の甲虫類.
飯豊連峰・総合学術調査報告. p.179-214.
- 高羽正治(1992) 石川県産甲虫類初出文献一覧表.
石川むしの会特別研究報告. 第6号:1-98.
- 高橋寿郎(1993) 伯耆大山のハムシに関する文献
目録. すかしば(39/40):1-8.
- 山本雅則(1979) 伯耆子岳とその周辺の甲虫.
SAKAIENSIS 16(2):128-184. (大阪府立大学生
物研究会)
- 山下善平ほか(1972) 大杉谷および大台ヶ原山の
昆虫相ならびに樹上クモ類相. 大杉谷・大台ヶ
原自然科学調査報告書:195-285.
- 山崎隆弘・穂積俊文(1990) 愛知県のハムシ科.
愛知県の昆虫(上):434-460.
- 矢野晩泉(1906) 伊吹山登山採集記. 昆虫世界10
(8):328-333.
- 矢野俊郎(1964) 四国産既知甲虫類目録Ⅵ(多食
亜目Ⅴ). 松山昆虫同好会時報(27):1-119.
- 横山桐郎(1930) 続 日本の甲虫. pl.2, f.15,
p.16 (西ヶ原刊行会・東京)
- (TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

ハマベツチカメムシ

淡路島に産す 高橋寿郎

最近三好和雄氏は山口県から本州初記録として
ハマベツチカメムシ *Psammozetes ater* Distant を
記録しておられる(月刊むし. No.294, p.39, 1995).
筆者は10年程前兵庫県下のツチカメムシ類の分
布を中心にまとめを発表した(13種. PARNASSIUS

No.31, p.1-6, 1984)。その中でハマベツチカメム
シを淡路島津名郡鞆で愚妻が採集したlex. (20, VI.
1979)を記録している(標本は現在県立人と自然の
博物館に保管)。海浜植物の根際、或いはその附
近に多く見出される種といわれているので淡路島
では現在でも産するであろうと考えられるが、確
認は出来ていない。また、県の瀬戸内海側海岸線
での生息もあり得ると思っているが、海岸線の破
壊でその確認が困難である。

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

丹生・帝釈山系にイシガケチョウ定着か

平尾栄治

神戸市北区山田町坂本からハイキングコースを約1時間30分で標高586mの帝釈山頂にたどり着く。

国道428号線の岩谷峠からのルートでは約40分で山頂に立てる。帝釈山はツツジ～コナラを中心とした自然林が多く残っており、ふもとから眺めても山の色合いが違う。

筆者は1982年以降毎年4月下旬から5月上旬にミヤマカラスアゲハの発生動態を観察してきた。

本年から毎月2～3回を目標に通いつめている。

1995年8月1日午後2時30分頃、丹生神社参道から帝釈登山道を少し入ったところで羽化直後のイシガケチョウ1♀を採集したので報告する。細い川沿いの登山道で、一瞬飛び立ち、すぐに近くの広葉樹の葉裏に止まったので、はじめはシャクガの一種かと思ったが、ネットに入れるとイシガケチョウであった。

近年表六甲山麓でも定着が報告されており、裏六甲丹生・帝釈山系でも定着の可能性は十分にあると思われる。今後食樹の分布も含めて追跡調査をしたい。

本年5月以降の帝釈山頂での主な採集記録を付記する。(発生のピークが例年より約1週間遅い)

1995.5.10	ミヤマカラスアゲハ	5♂
	オナガアゲハ	1♂
5.18	ミヤマカラスアゲハ	1♀
	カラスアゲハ	2♂
5.23	スミナガシ	2♂
	アオバセセリ	1♂
5.27	モンキアゲハ	4♂
6.10	ゴマダラチョウ	2♂
	イチモンジチョウ	1♂
	スミナガシ	3♂
6.20	テングチョウ	5♂
	ヒオドシチョウ	1♂2♀
	アカシジミ	1♀
	ミズイロオナガシジミ	1♀

7.9	ルリタテハ	1♂
8.1	イシガケチョウ	1♀
	ツマグロヒョウモン	2♂
	オオムラサキ	1♂
	モンキアゲハ	12♂
	ミヤマカラスアゲハ	1♂
9.9	スミナガシ	1♂
	アカタテハ	3♂
	ヒメアカタテハ	1♀

(HIRAO EIJI 神戸市北区松が枝町3-4-4)

★★★ 編集係よりお願い ★★★

前号でイシガケチョウがどうやら北へ東へと分布域を広げようとしているらしいとお伝えしました。さっそく今回、裏六甲山地域での採集記録が平尾氏より寄せられましたが、会員諸氏の皆様方も採集又は目撃記録がありましたら、ぜひ編集子まで御一報下さい。

クロオビツツハムシの 兵庫県からの古い記録

(兵庫県甲虫相資料, 308)

高橋寿郎

筆者前号(Vol.23, No.1)にて兵庫県のクロオビツツハムシの分布についてまとめさせて頂いたが、名和 靖氏が兵庫県(地名不詳)で90年も前、1902年8月17日に採集したとの記録があるのを見落としていた(学名は *Clytra japonica* Baly)。兵庫県からの記録としては、一番古いものであると考えられるので此処に追記させて頂く。

[名和梅吉, 日本産葉蟲類に就いて(承前), 昆虫世界 39(449):5, 1935]

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

ナナフシを飼育して

浅田 卓

平成7年6月12日、美方郡村岡町村岡の山中で、樹高1m程のクロウメモドキの葉上からナナフシを採集した。ナナフシといえは直ぐに擬態が連想されるが、ばれないと思っているうちはじっと静止しているけれど、一度危機を感じると結構動きが敏捷で、葉裏に逃げたり地上の草むらに落ちたりする。また、枝を組み合わせたような体形なので、素手だと実に捕まえにくい。その結果、採集の際不覚にも右側の前脚と左側の中脚がとれてしまった。

なお、当初はこのクロウメモドキとの関係を何とも思わなかったが、その後何回か同じ株にナナフシを見かけ、他の場所のクロウメモドキにもナナフシがいたことから、かなりしぼられた食樹ではないかと思うようになった。

さて4本脚のナナフシの飼育だが、容器には成長に従って直径10~20cmの腰高なタッパウェアを使用し、餌はクロウメモドキの小枝を数本入れ、週1回程度取り替えた。新鮮な葉を入れると、直ぐに食べはじめることがあるので観察していると、葉の側面の上から下に円弧状にかじっており、やや遅めではあるが一般的な蝶の幼虫と変化はなかった。飼育しはじめて最初の脱皮をしたナナフシを観察していて驚いた。何と脚が5本になっており、いつの間にかやや短めの前脚が生えているのだ。そして次の脱皮をしたとき、とれた中脚のところに短いらせん状の脚のようなものが生え、さらに次の脱皮の後に観察するとちゃんと6本脚のナナフシが食事中であった。

ナナフシは不完全変態であるが、結局採集したとき体長5cmぐらいの幼虫が何齢か不明であり、その後何回か脱皮を重ね、最終的に8月終わり頃に体長10cmあまりとなって成長が止まったので、

おそらくそのときが成虫だったのだらうと判断できと思う。

クロウメモドキは落葉樹であるから、9月中旬になると緑は色あせ部分的に黄葉しはじめ、餌を取る際枝を選んで少しでも緑の濃い葉を与えるようにした。そういえば、9月になってからは自然状態でナナフシを見ることはなくなり(ただし、9月末に鉢伏高原でトビナナフシを採集)、飼育個体の動きも悪くなったと思う矢先、9月25日に容器の底に落ちて死んでいた。

元々専門は蝶なのでナナフシに関する詳細な文献を持っておらず、調べれば書いてあることばかりかも知れないが、約3ヶ月半程の飼育における門外漢の観察記録ということでご容赦願いたい。(ASADA TAKASHI 神戸市垂水区西舞子7-16-2-108)

コオイムシの採集記録

蛭田永規

コオイムシ *Diplonychus japonicus* Vuillefroy を採集したので報告する。県下での記録についてはよく知らないが、水生昆虫の生息環境が悪化する中で少なくなりつつある種と思われる。

19.VIII.1995 1♂1♀ 多可郡黒田庄町黒田

採集した池は、周りを水田に囲まれた農業用のため池で、コウホネが水面を覆い、チョウトンボ、シオカラトンボ等の多いやや富栄養気味と思われる池である。コオイムシの他にはミズカマキリ、コシマガンゴロウ、ヒメガムシ、マルタニシ、スジエビなども採集した。

その後の飼育の中で、採集後7日目に1頭の背中に卵(約40個)が産みつけられたことから、採集した2頭が♂♀であることが判明した。

また、食性についてであるが、マルタニシの幼生や、コシマガンゴロウ、ミズカマキリの捕食後のスジエビなどを食べているのが見られた。

(HIRUTA HISAKI 姫路市飾磨区阿成字黒石22-3 県職員住宅212号)

兵庫県におけるハネナシアメンボの記録

高橋寿郎

最近、津名郡北淡町城ノ瀬山にてハネナシアメンボ *Gerris amembo* Miyamoto, 1958 が8exs.淡路島から初記録として発表があった(1995)。

筆者は既に淡路島の津名郡北淡町常隆寺にて20年ほど前に採集しており(lex., 20.IV.1974)、記録としても発表している(1990)。確かハイキングで出掛けた際同行の愚妻が採集したものであると思うが、詳しい採集時の様子の記憶はない(この標本は現在、人と自然の博物館に保管されている)。

このハネナシアメンボの兵庫県下の記録は、筆者の貧弱な知見、所有文献からではあるが、他に

はほとんどなく、僅かかなり古い(30年以前のもの)日浦 勇氏の高砂市曾和天満宮というのがあるだけである(1967)。海岸線が破壊されてしまっている現在、この種がまだ兵庫県下にいるのかどうか調査してみる必要があるようだ。

<参考文献>

日浦 勇(1967) 日本産水棲・半水棲半翅類の分布の研究・1. 大阪市立自然史科学博物館所蔵標本の検討. Bull. Osaka Mus. Nat. Hist. (20):65-81.

高橋寿郎(1990) 兵庫県産水生半翅目録. 兵庫陸水生物(36-27):103-114.

吉富博之(1995) 淡路島のハネナシアメンボ. 月刊むし(293):34-35.

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

上月町で採集した蝶2種の記録

高島 昭

岡山県境近い佐用郡上月町西新宿でスジボソヤマキチョウ *Gonepteryx aspasia* Ménétériès を採集した。

25.IX.1995 1♂ 上月町西新宿

14.X.1995 1♂1♀ 同 上

本種は、クロウメドキの仲間を食草としているため県下でも分布は限られており、これまで県東部(猪名川町、川西市周辺)と西播(揖保川、千種川水系)及び但馬地域で採集されている。

当地は千種川の支流、秋里川の源流地域であり、本種は珍しくない。筆者の妻の実家が当地にあり、毎年稲刈りの最中に本種が飛翔するのを見ているが、当地の採集記録はこれまでないようなので報告しておく。

当地ではクロコノマチョウ *Melanitis phedima* Cramer もここ数年普通に見られ、柿の実で吸汁したり夕方に盛んに飛翔している。本種は1970年代以降県下各地で採集されるようになり、完全に定

着したかに思われるが、上月町での記録はまだないように思うので報告しておく。

14.X.1995 1♂ 上月町西新宿

なお、これら2種の県内の分布状況について御教示いただいた近藤伸一氏にお礼申し上げる。

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

正 誤 表

きべりはむし第23号第1巻の記事に誤りがありましたので、下記のように訂正します。筆者の新家勝棟には大変ご迷惑をおかけしました。謹んでお詫び申し上げます。

誤 P.31.右1行目 トゲハラヒラセクモゾウムシ
etialma cordata Marshall

正 トゲハラヒラセクモゾウムシ
Metialma cordata Marshall

摘要 学名の誤り(脱字)

誤 P.31.左7行目 宝塚市光明池町

正 宝塚市光明町

摘要 採集地名の誤り

県 関 係 文 献 紹 介

丹波自然友の会編 丹波の自然 (のじぎく文庫, 334p, IV, 1995)

丹波の自然をいろいろな角度から取り上げまとめている。昆虫関係については、高橋 匡氏が氷上郡昆虫目録を中心に丹波の昆虫相の概説をしておられる。他に二宗誠治氏がトンボ、団野 薫氏がチョウ、芦田泰嗣氏が秋の虫をそれぞれ取り上げて解説しておられる。いわゆる一般向けの書であるから全般に概説的なものである。

兵庫の貴重な自然(兵庫県版レッドデータブック) (6月, 1995)

平成3年より選定作業がすすめられてきた「兵庫の貴重な自然(兵庫県版レッドデータブック)」が出版された。既に新聞(神戸新聞 23.V.1995)とか「混虫ずかん」(No.50, VI.1995)、「自然とともに」(No.30, VII.1995)などで紹介されているので此処での紹介は省略する。ただ、このようなまとめを今後どのように運用してゆくのが問題であり、また少なくとも5年に1度位は状況に応じた見直し作業を継続してゆかなくてはと考える。

山本茂信編 兵庫県浜坂町自然の状況 B5, 194p.

昭和48年に第1号が出版されているが、今回ののが第2号になる。各専門者が29項目について解説している。ただ残念なことに昆虫に就いての項目が西村 登博士等の解説文ひとつしかないことである。地元には熱心な昆虫研究者がおられることと思われるので、次の発行の時は是非昆虫の調査結果をも入れて頂きたい。

自然環境研究所 淡路島の絶滅の恐れのある野生生物(II) 淡路島版レッド・データ・ブック第2集 B5, 73p.

1993年春に第1集が出版され、今回ののが第2集になる。昆虫は12種がとりあげられている。チョウが4種で一番多い。甲虫は2種(アワジヒメオサムシ、ゲンゴロウ)取り上げられている。

県 関 係 ・ 学 会 誌 ・ 同 好 会 誌 ・ 連 絡 誌

(IV . 1995 - IX . 1995)

姫昆サロンニュース(姫路昆虫同好会) No.109(IV.1995) No.110(IV.1995) No.111(V.1995)
No.112(VI.1995)

自然とともに(兵庫県環境局環境管理課) No.29(III.1995) No.30(VII.1995)

兵庫生物ニュース(兵庫生物学会) No.21(V.1995) No.22(VII.1995) No.23(IX.1995)

IRATSUME(但馬むしの会) No.19(VI.1995)

混虫ずかん(但馬むしの会連絡誌) No.49(VI.1995) No.50(VI.1995)

兵庫陸水生物ニュース(河原版) No.5(VI.1995)

兵庫陸水生物(兵庫陸水生物研究会) No.46(IX.1995)

人と自然の博物館ニュース「ハーモニー」 No.10(1995.VII)

宝塚の自然(宝塚自然に親しむ会々報) No.9(1995.III)

兵庫生物(兵庫県生物学会) Vol.11, No.1(VIII.1995)

のせ(大阪昆虫同好会連絡誌) Vol.24, No.1-8(1995. I - VII)

交 換 誌

富山市科学文化センター研究報告 第18号(1995.III)

神奈川県立博物館調査研究報告 自然科学第7号(1995.V)

すかしば(山陰むしの会々誌) No.41/42(V.1995)

いずも虫だより(山陰むしの会連絡誌) No.69(X.1994) No.70(X.1994) No.71(IV.1995)

FUTAO(フタオ会・鳥取) No.18,19,20(1995)

会費納入についてのお願い

1996年度会費 3,000円

出費多端の折、恐縮に存じますが、会費納入を年内に
同封振替用紙御利用の上、お願い申し上げます。

編 集 後 記

今年の夏は見事に予報を裏切って、昨年に続く猛暑でした。暑さの中、採集に出かけても夏枯れの様相を呈しているように感じたのは気のせいでしょうか。

振り返ってみると10月になってもミンミンゼミが鳴いていたり、テングチョウの大乱舞によく出くわしたり……と、虫達も2年続きの暑さのせいでバイオリズムが狂ってしまったのではないかと考えられます。気象学の世界では、気温の平均値が平年と1℃違うと大変な異常だそうです。

会員の皆さんも採集旅行や日常生活の中で、昆虫たちの発生の遅れや異常発生、毎年見られる虫がいない、生態面で昔段と違うなど、どんな些細なことでも結構ですから、気のついたことを編集担当まで御一報下さい。

恐らくあまり経験しないであろう2年続きの猛暑が、虫達の世界にどんな影響があったかは残念ながら検証する術もありませんが、どんな現象があったかを記録しておくまたとない機会だと思います。昆虫に限らず、動植物全般に範囲を広げて、御報告をお待ちしております。

さて、紙面を一新して2号目となりました。激励のお便りやお言葉を数多く頂き、ひとまずほっとしております。さらに努力を重ね、より充実した会誌づくりをめざします。少しでも多くの方の原稿を掲載したいと思いますので、どしどし御投稿下さい。

今回は1996年5月発行となります。原稿の締切は3月31日です。よろしくお願いいたします。

なお、高橋寿郎氏より大作の原稿をお預りしており、ほぼ校正も終わりました。兵庫県産甲虫の研究には欠かすことのできないものであり、特別号として年末には刊行したいと考えております。御期待いただくとともに会費納入についてもよろしくお願いします。

(編集担当：近藤伸一・高島昭)

き べ り は む し 第23巻 第2号

1995 年 11 月 25 日 発 行

発行：兵庫昆虫同好会

〒652 神戸市兵庫区氷室町1丁目44 高橋寿郎方

振替 01170-3-26646

編集：近藤伸一・高島昭

原稿送付先 〒671-22 姫路市書写2542-2 高島昭宛

印刷：岩峰社

目 次

兵庫県の水棲甲虫に関する文献目録(1)……………高橋寿郎	1
(兵庫県甲虫相資料.307)	
波賀町引原ダム周辺における蛾相第2報……………高島 昭	10
(兵庫県産蛾類分布調査資料.2)	
赤穂市でクロシオキシタバ採集……………高島 昭	23
(兵庫県産蛾類分布調査資料.3)	
兵庫県版レッドデータブックについて(1)……………近藤伸一	24
コオイムシ、オオコオイムシの採集記録……………近藤伸一	28
モンクロベニカミキリの採集記録……………近藤伸一	28
ルイスクビナガハムシの分布……………高橋寿郎	29
(兵庫県甲虫相資料.309)	
ハマベツチカメムシ淡路島に産す……………高橋寿郎	33
丹生・帝釈山系にイシガケチョウ定着か……………平尾栄治	34
クロオビツツハムシの兵庫県からの古い記録……………高橋寿郎	34
(兵庫県甲虫相資料.308)	
ナナフシを飼育して……………浅田 卓	35
コオイムシの採集記録……………蛭田永規	35
兵庫県におけるハネナシアメンボの記録……………高橋寿郎	36
上月町で採集した蝶2種の記録……………高島 昭	36
正誤表……………	36
県関係文献紹介……………	37
県関係・学会誌・同好会誌・連絡誌(X・1994～Ⅲ・1995)……	37
交 換 誌……………	38
会員異動……………	38